

東海  
水曾  
兩道中懷寶圖鑑

ル 3  
3123



143  
3/23



湖風景



其  
其  
其

琵琶



東海  
曾  
兩道  
中懷  
寶圖  
鑑

凡例

一 此西道中記の上乃方に東海道と寫し下の方  
 本曾路と寫して何處の乃と稱するを定む  
 一 紙を枚の面と一宿と定む是を定む  
 一 東海乃上りと順に記し本曾下りと順に記し  
 是東海乃と下るとは奥より道かたるとは  
 本曾海も是に准して定む  
 一 中仙道伊勢海を介す文を略す河々と記すも

昭和九年

目錄

奥日書出りの日且其具其見安くむる



中仙道 辛子

鎌倉 六丁

箱根湯 辛子

秋原 北七丁

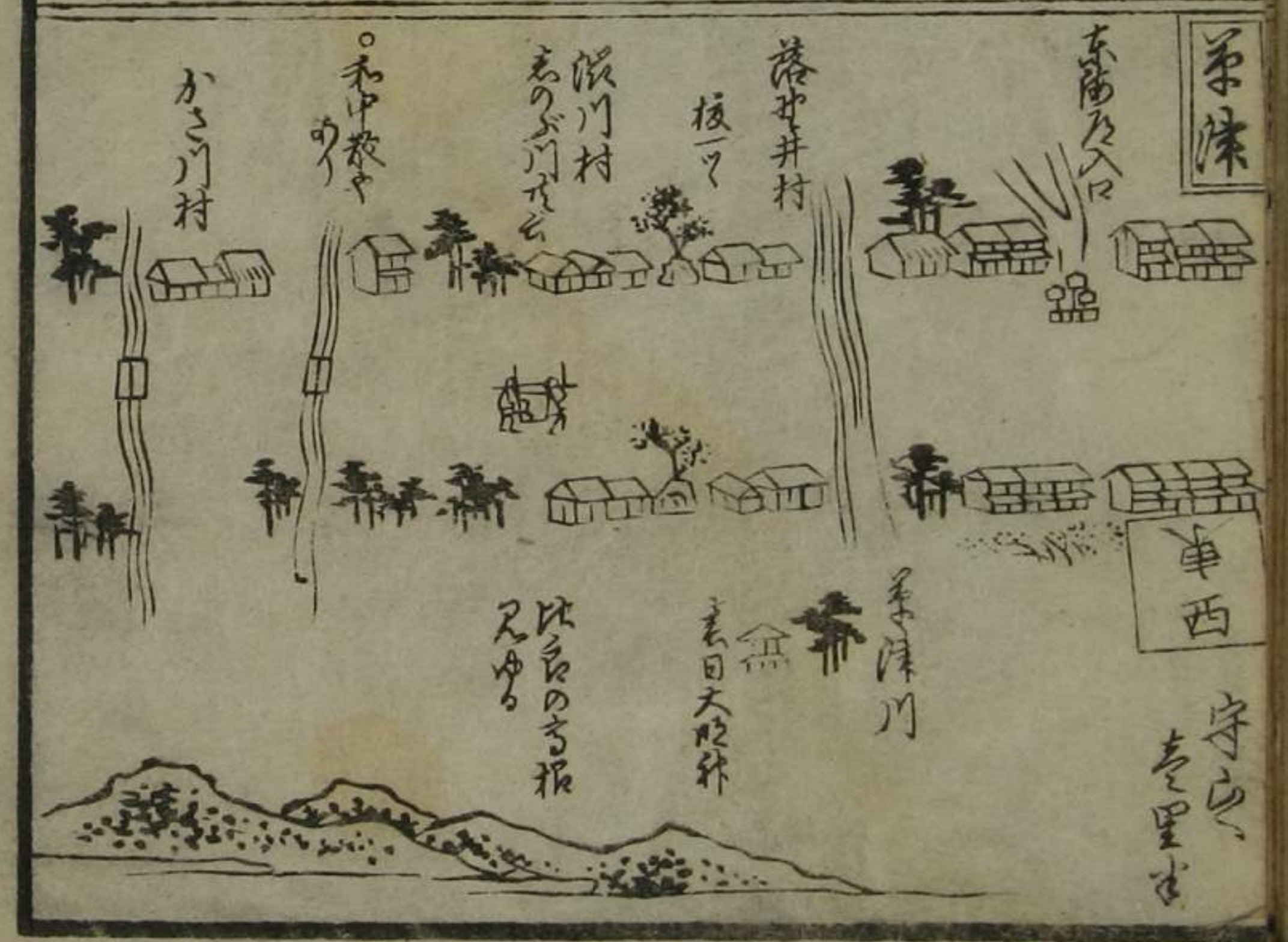
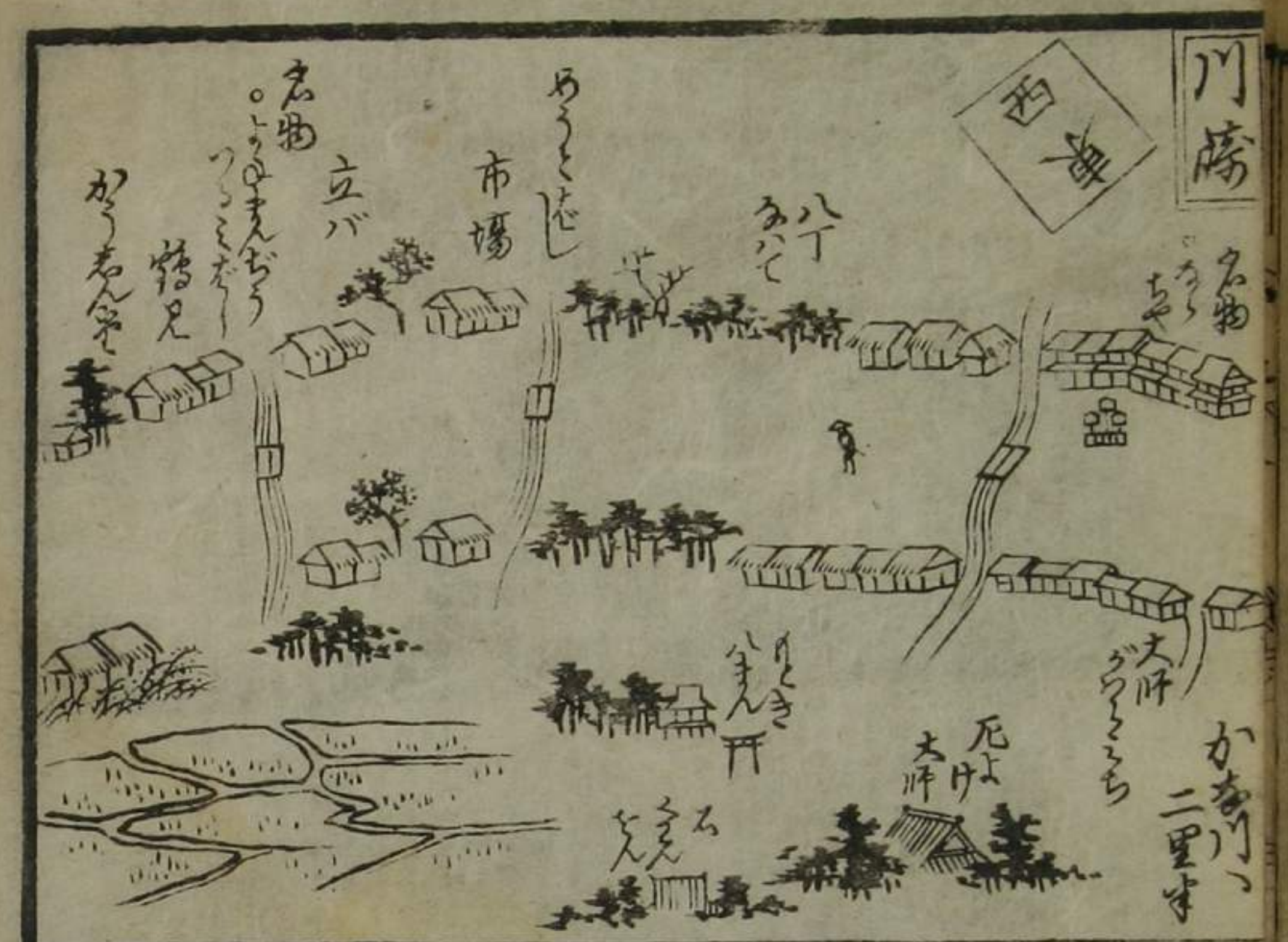
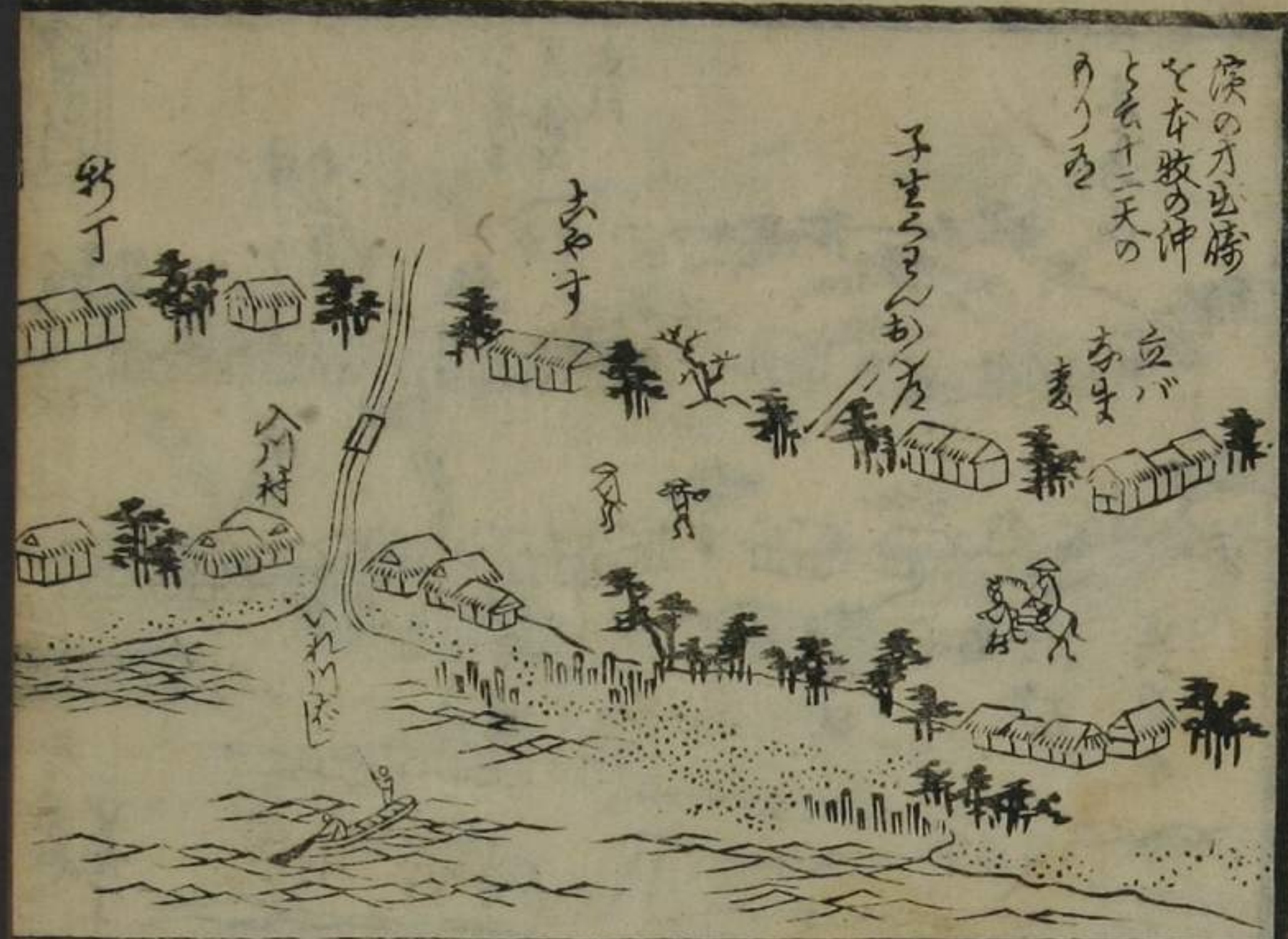
本坂鐵 辛子 佐屋廻 辛子 白 光 辛子

名古屋 辛子

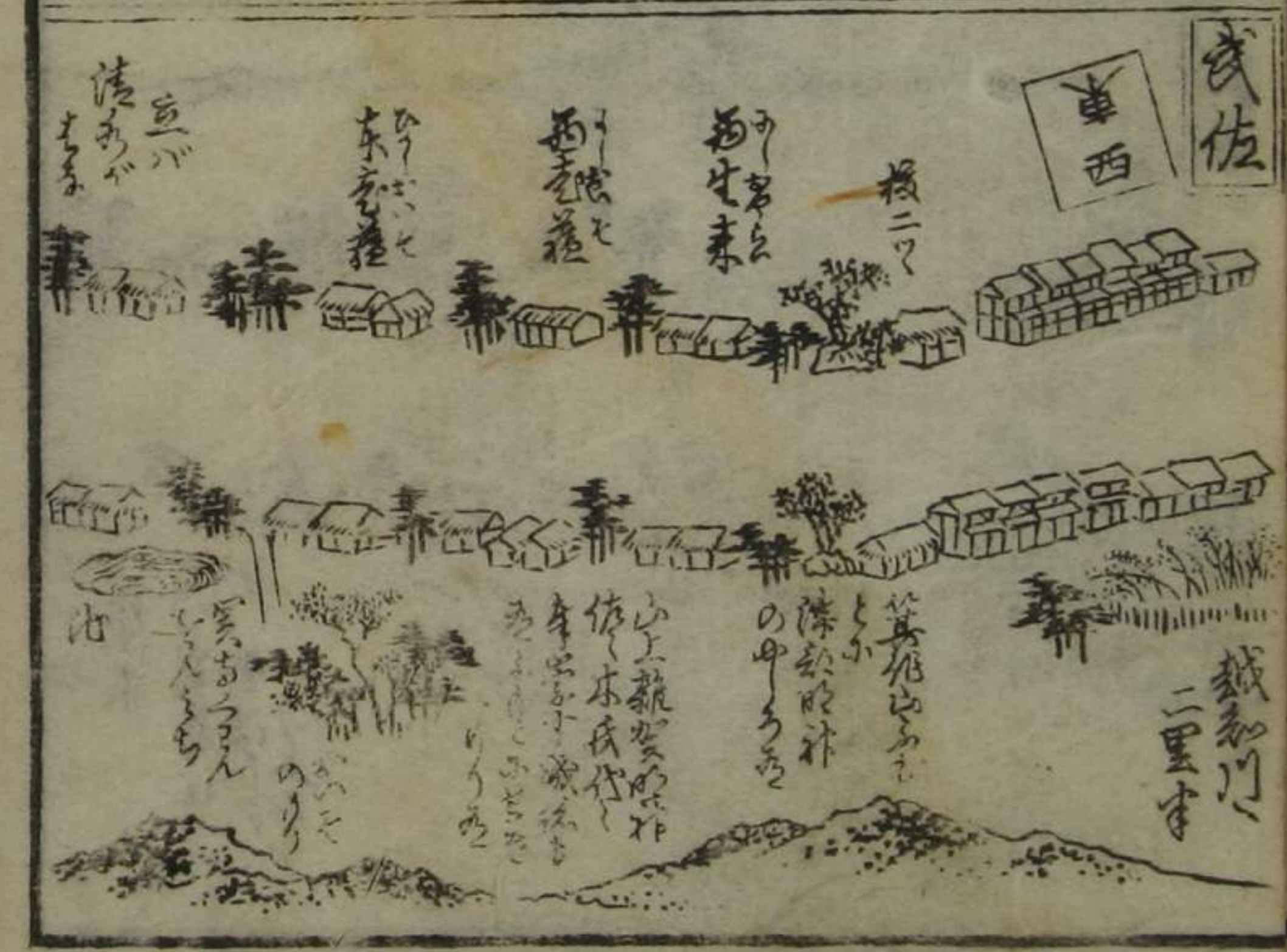
大津より 大坂まで 辛子















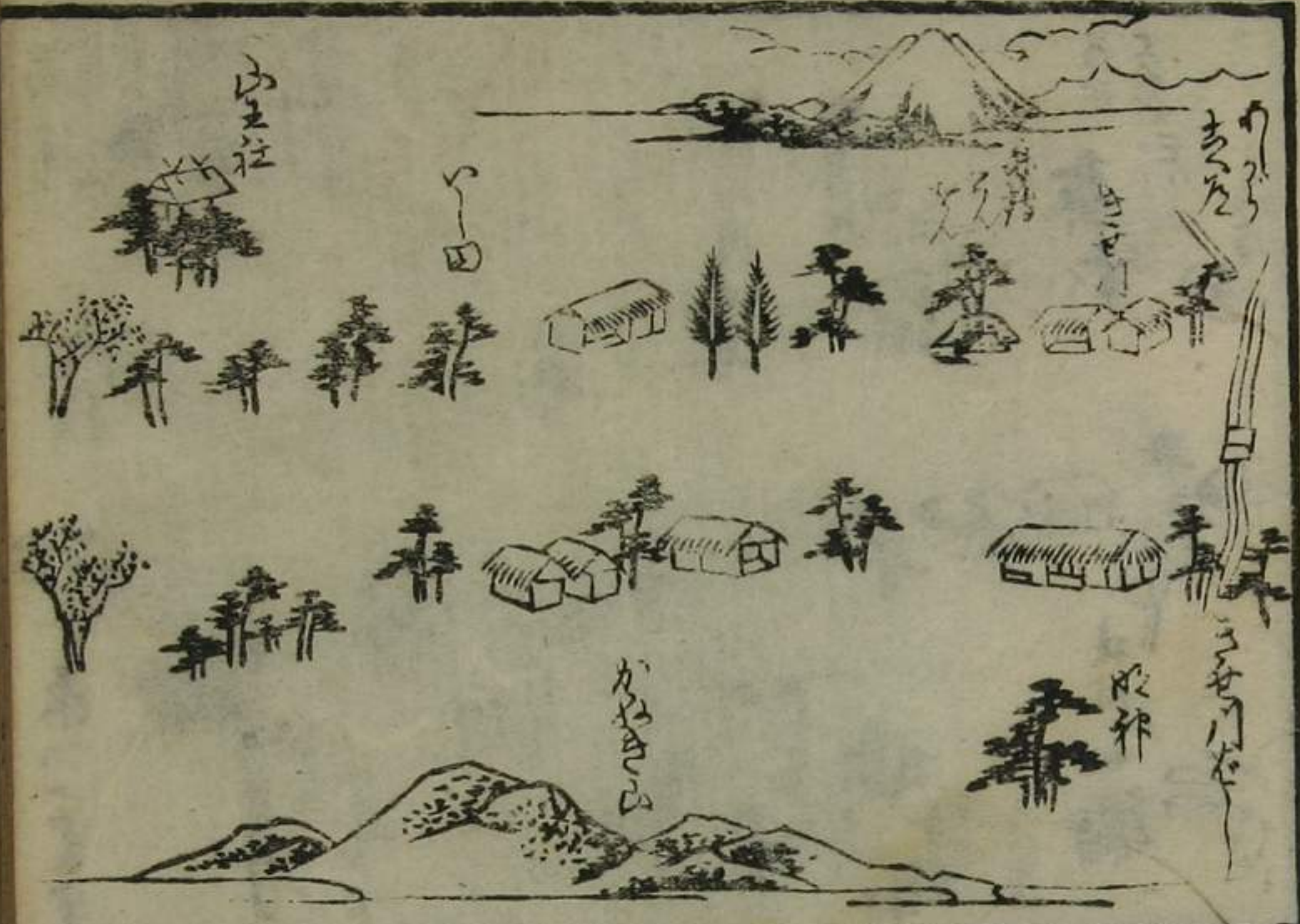












山王江

三ツ門

かたがひ

松林

松尾山

石跡村

岡のふり

大岡村

夜不復更のそし  
 而もその月をさの  
 方に夜かかるとま  
 くと夜あまの所  
 とるなり

上三



三橋

田無

千束

伊豆界

白河

八幡

沼津一里

心くさ

今頃

田東

枝

岡東を

後四

後三

後二

後一

後

後

後

後

後

くら本の

寺

寺

寺

寺

寺

寺

寺

寺



















此川とある  
 の旁にあり  
 味とよま  
 川とよま

舟中の舟より  
 眺めとある  
 川とよま  
 舟とよま

さびし

上橋

さびし

舟中あり



あむ

松

松

村

川

本川とある  
 尾城川あり  
 尾城川あり  
 尾城川あり  
 尾城川あり

三十二



村中

西

城西  
 渡河の社あり  
 社あり

本橋

み

河

一里  
 舟中あり  
 舟中あり

舟中あり



大田

舟

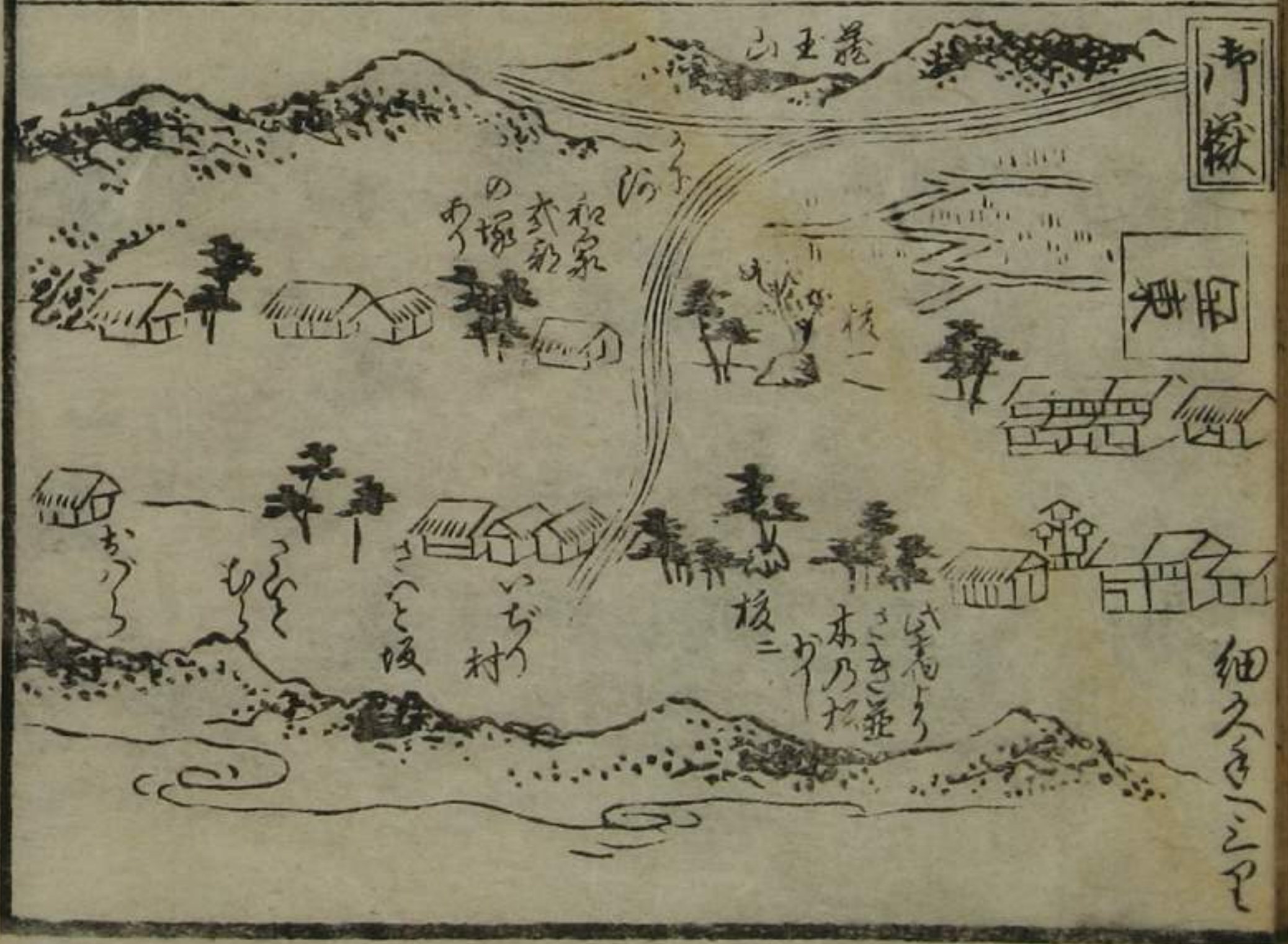
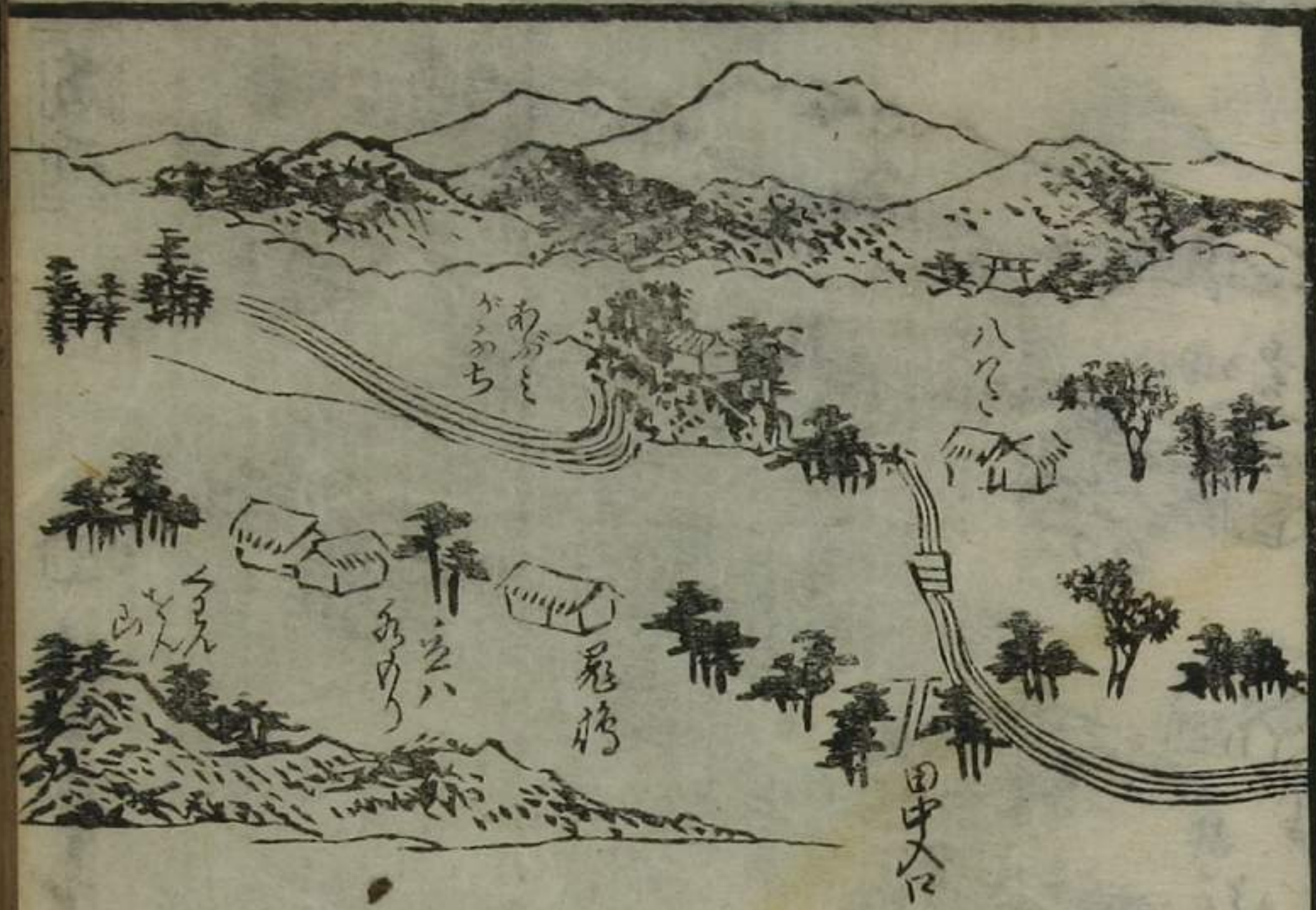
大田川

伏見、二里

舟中あり  
 舟中あり  
 舟中あり  
 舟中あり









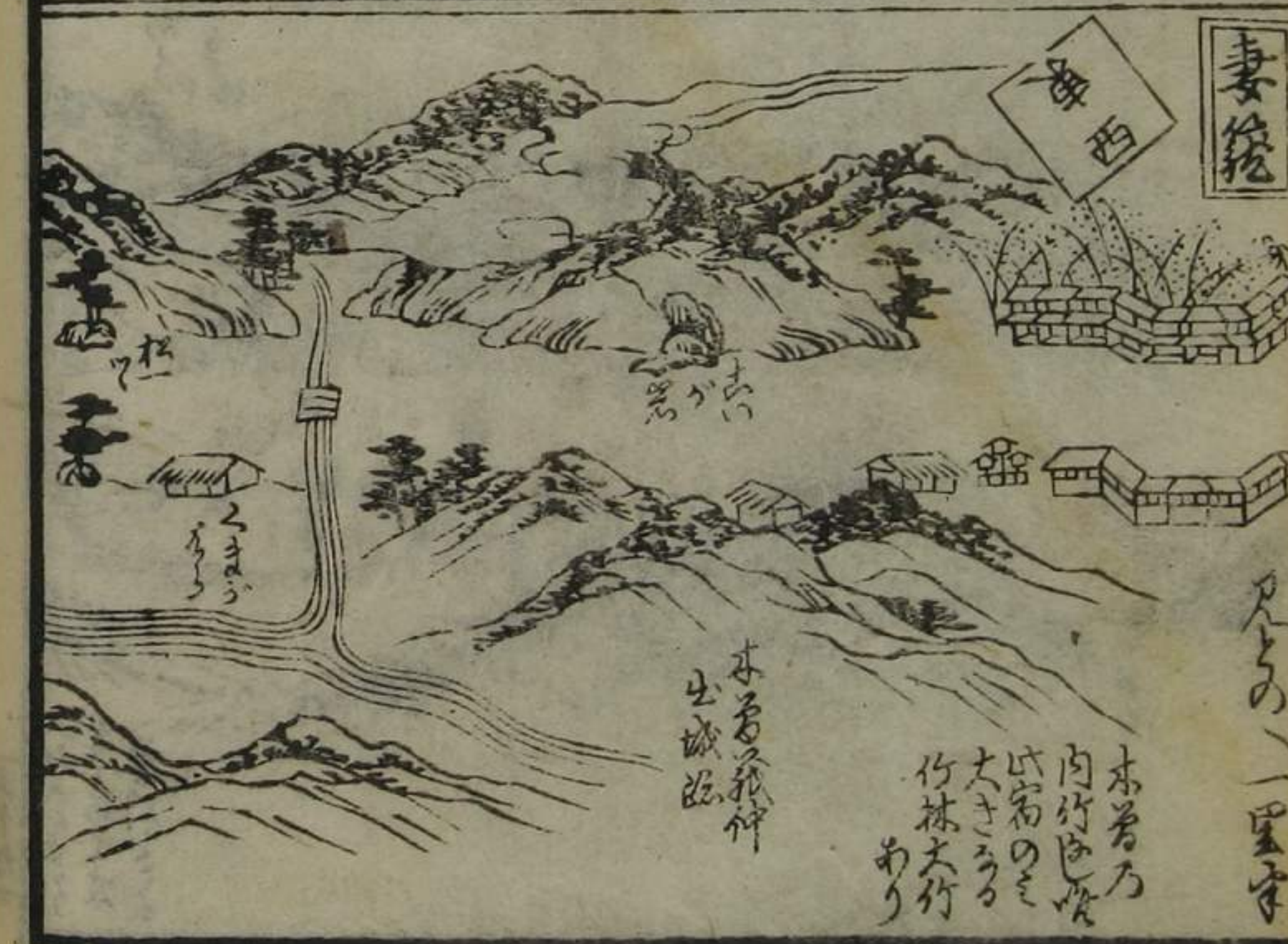








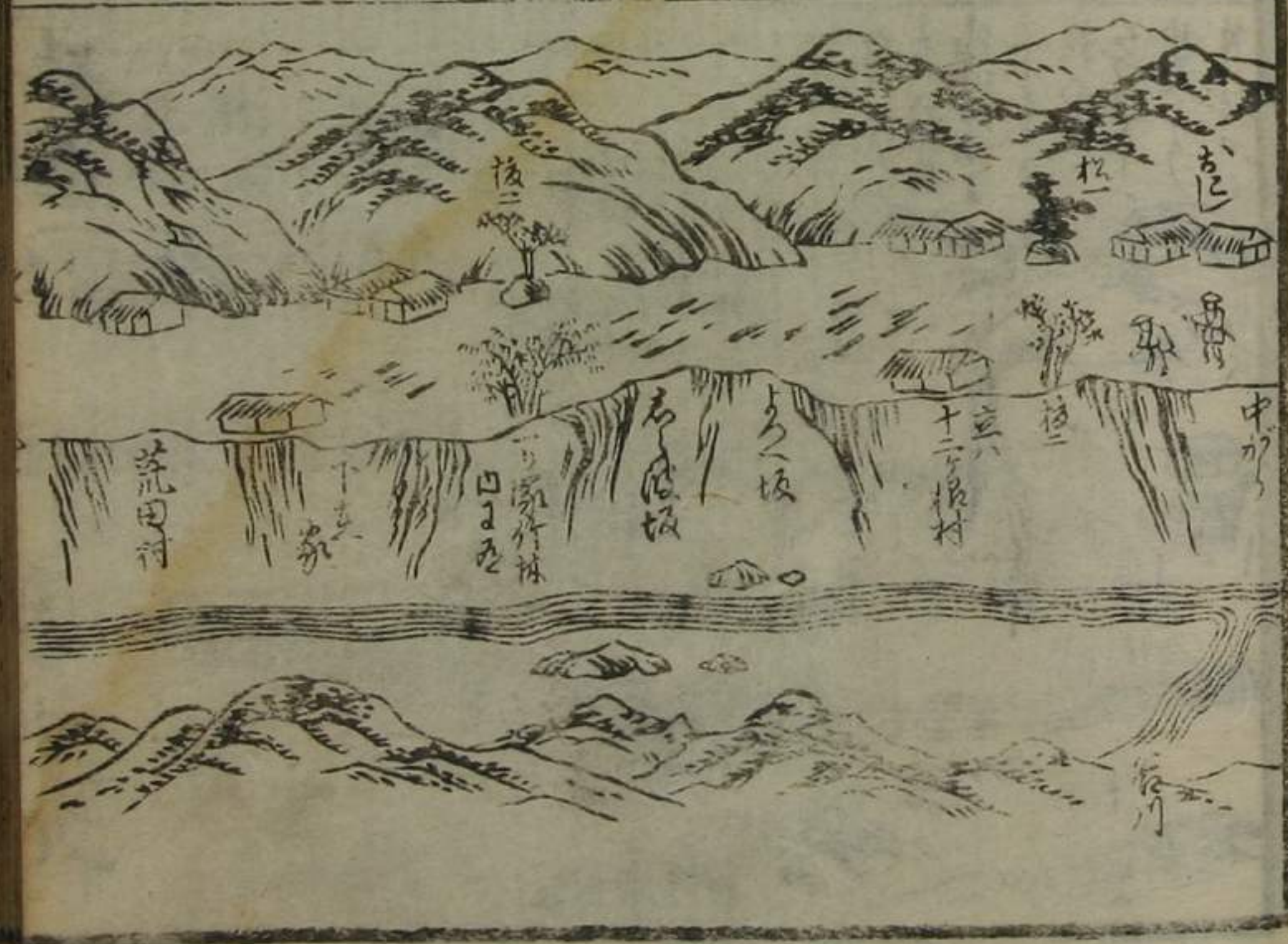




見付

妻籠









室永の比今切花  
 出て海波とよむ  
 よう手行安徳

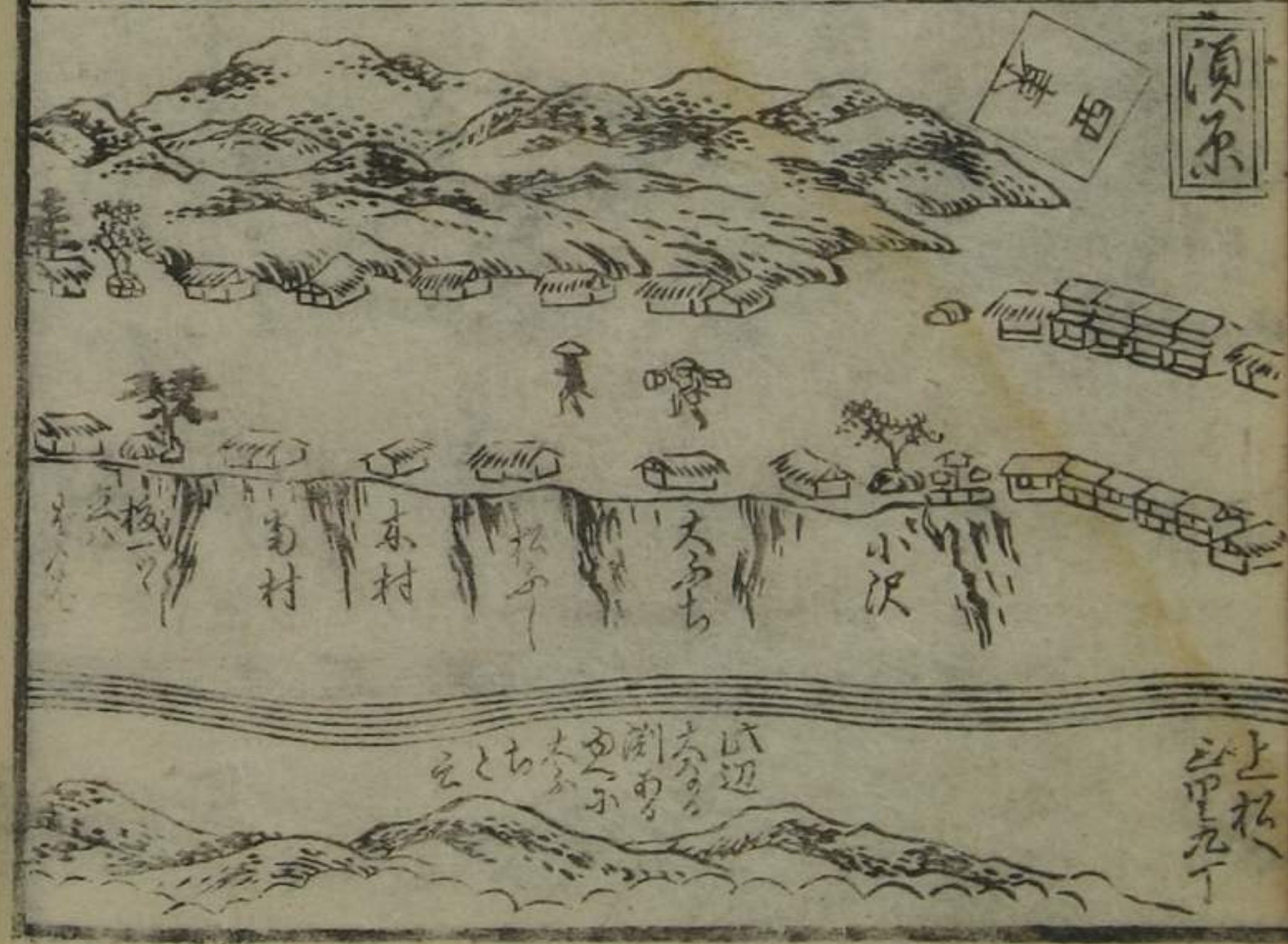


中津村に寺松  
 乃松東あり

茶屋  
 乃松東あり  
 乃松東あり  
 乃松東あり

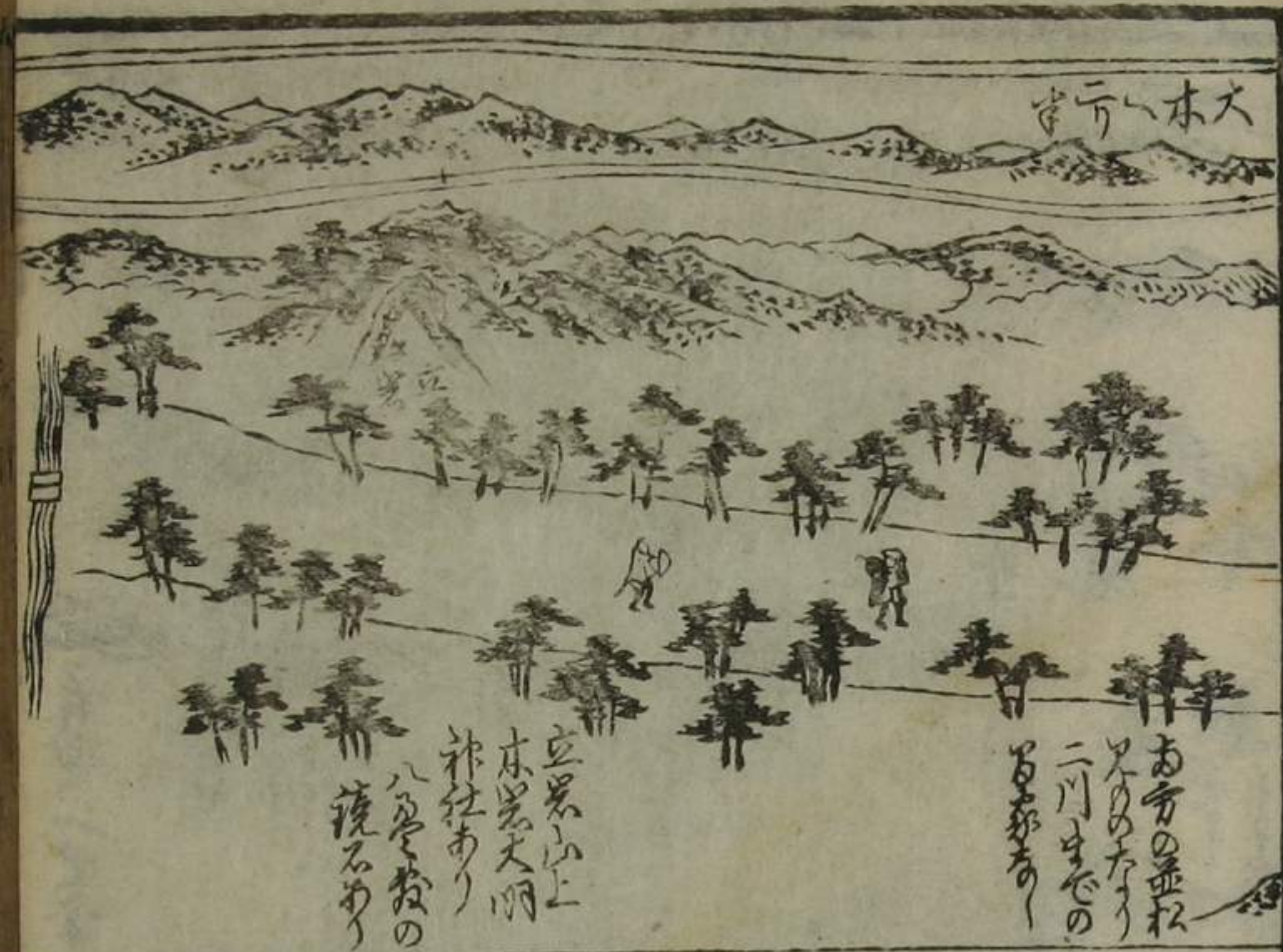


室永の比今切花  
 出て海波とよむ  
 よう手行安徳

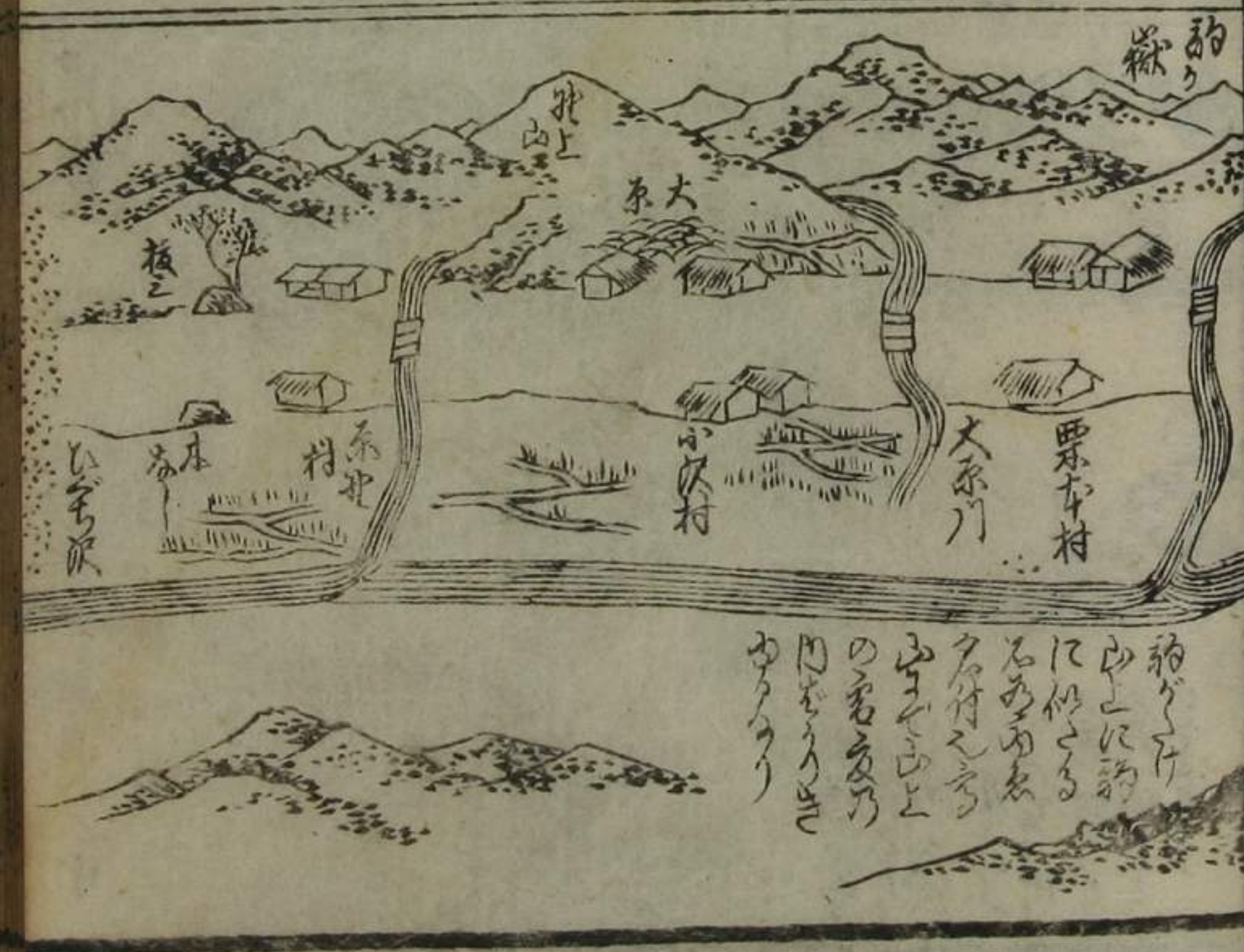


室永の比今切花  
 出て海波とよむ  
 よう手行安徳

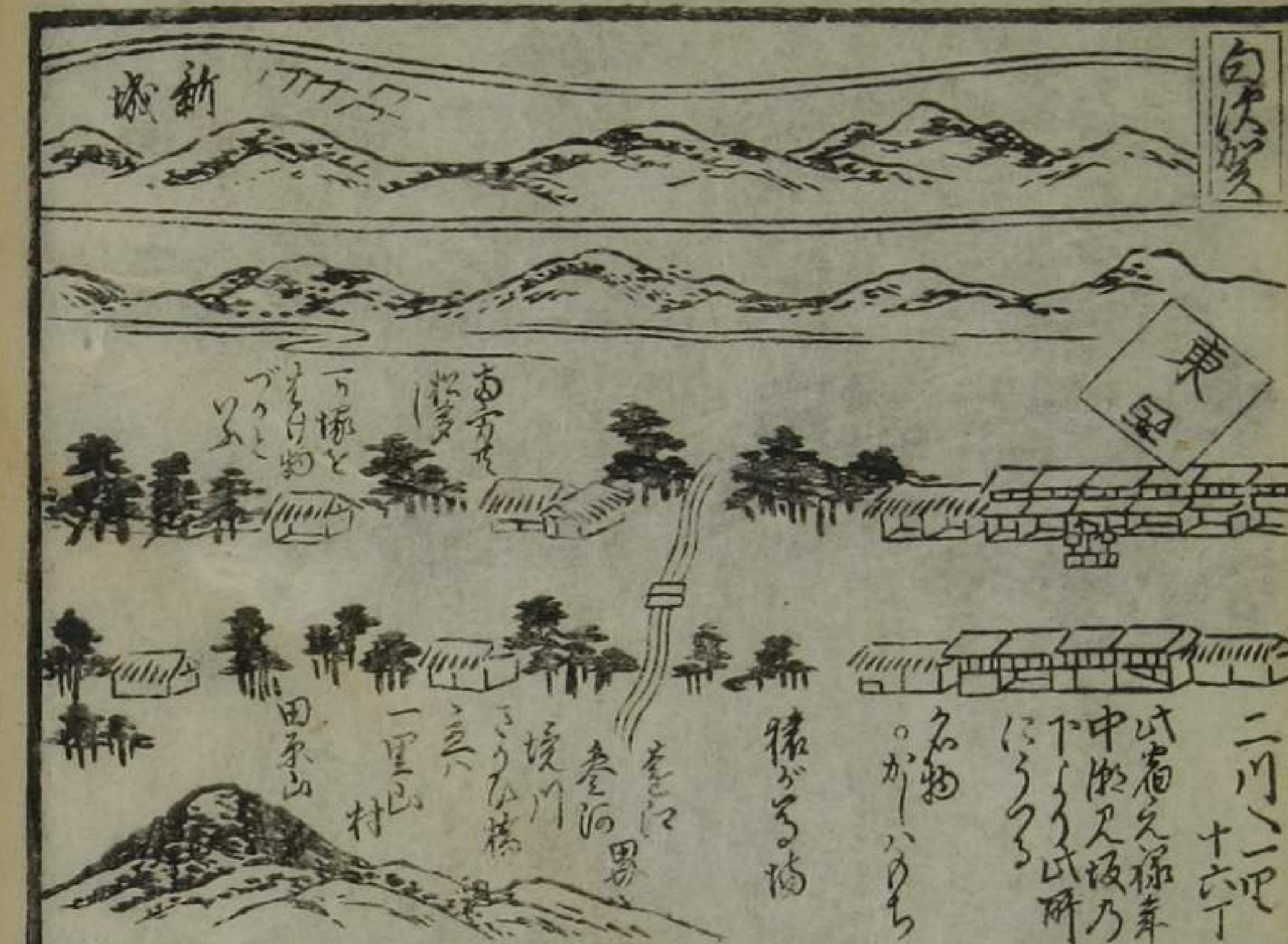




大木の守  
 立寄山上  
 本堂大明  
 林社あり  
 八巻松の  
 鏡石あり  
 お方の並松  
 二川のたう  
 百松あり



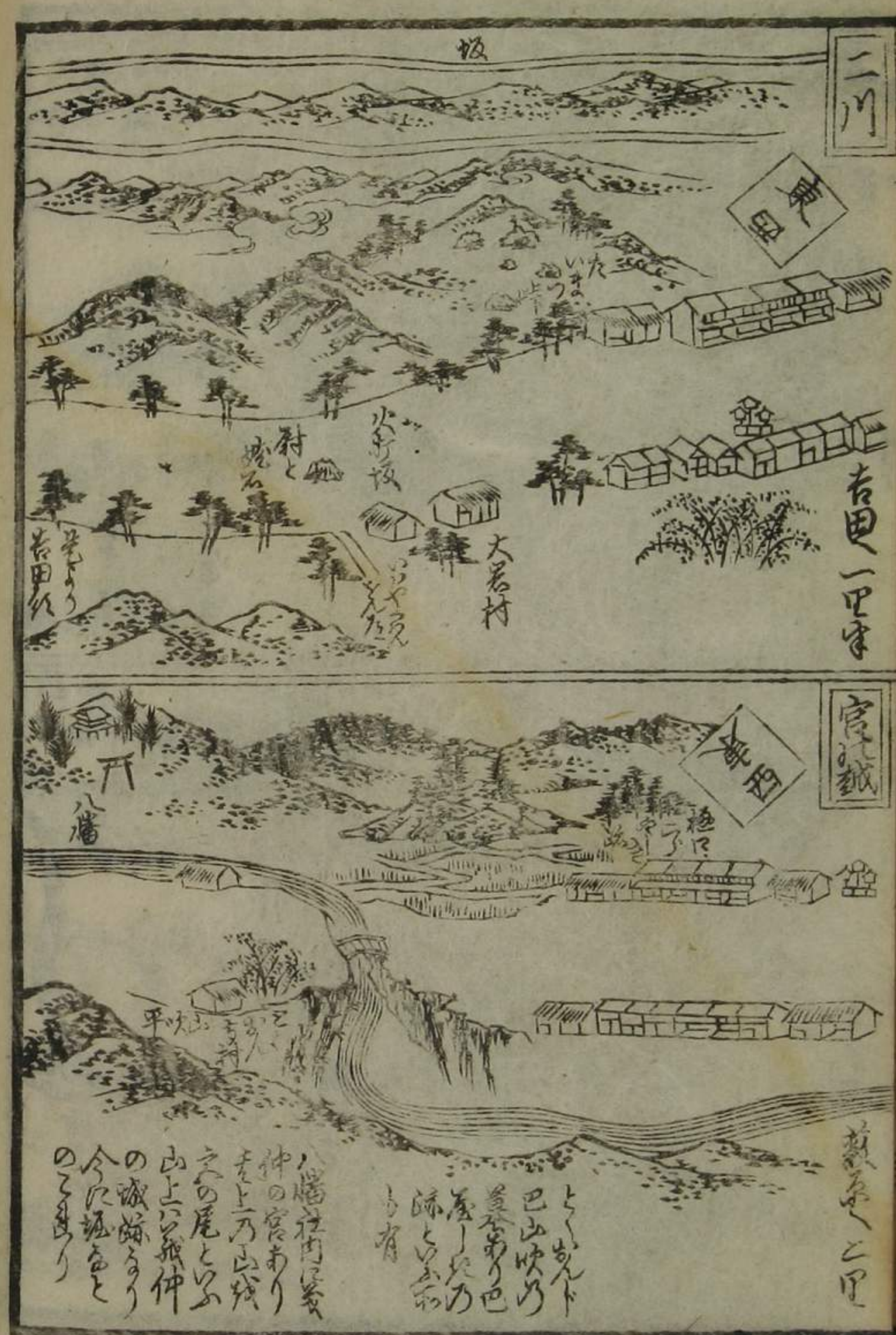
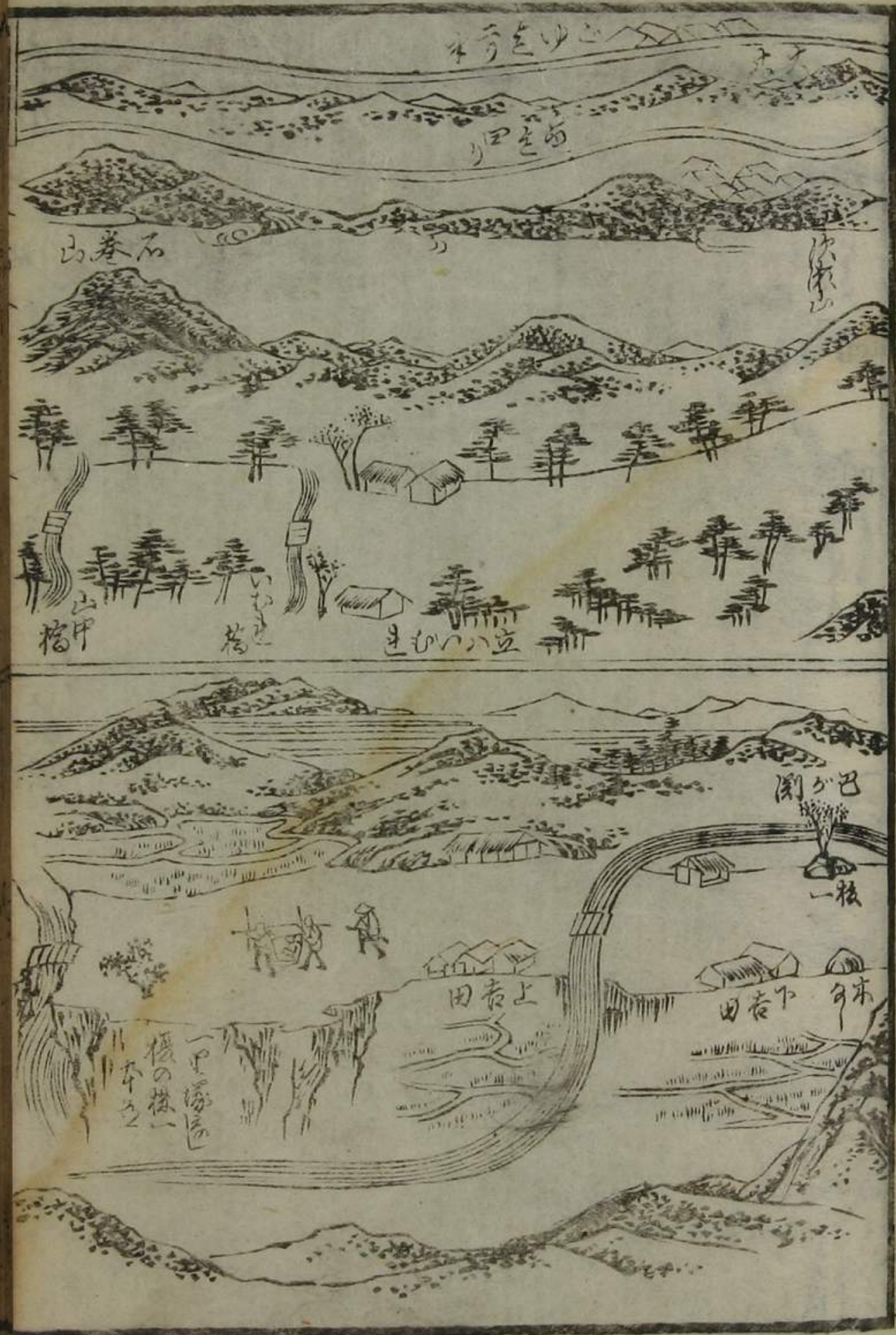
約嶽  
 栗本村  
 大系川  
 小沢村  
 本村  
 上田村  
 約嶽  
 山に約嶽  
 名ありあり  
 名付あり  
 山に約嶽  
 の名あり  
 門ありあり  
 ありあり



新水  
 二河一河  
 十丁  
 中流足取乃  
 下流足取乃  
 名物  
 がらり  
 猿がうめ  
 在江  
 界  
 境川  
 一里山  
 田原山  
 田原山



福高  
 新田所  
 性米乃  
 若女改  
 珠鹿改  
 本高左  
 荒井河  
 田所乃  
 大  
 中  
 山村  
 山  
 官の城一里半  
 新田所  
 上田村  
 本村  
 池尻村  
 新田所  
 名物  
 かん中  
 上田  
 仲  
 在  
 居  
 行  
 世



とく丸下  
巴山吹乃  
差支乃巴  
師乃乃乃  
乃有  
八幡社内は  
仲の宮あり  
ま上乃山吹  
之の尾といふ  
山より我仲  
の城跡あり  
今た城を  
のこすなり















沈龍

陸尾

四洲

望東

林あり  
古流に親  
附ありと  
不のふと  
せしこと  
四月より  
五月まで  
六月まで  
七月まで  
八月まで  
九月まで  
十月まで  
十一月まで  
十二月まで

ちやう  
大船

市後

四洲

馬海  
北丁

赤坂

おのり  
おのり  
おのり

尾張

尾張

芋川

今長

一里山

おのり

松本

望東

下流

江本

板

おのり

おのり

おのり

下流

四十二

河海



又上遊と河海  
所もあつた  
屋敷のあつた  
たわ  
又公家のあつた  
うらたつた  
山崎兄也拜る  
門海あり  
一里塚の四下  
いせあつた  
あつた

宮一里守

下流



和府  
六里守

守定本松

又上遊と河海  
所もあつた  
屋敷のあつた  
たわ  
又公家のあつた  
うらたつた  
山崎兄也拜る  
門海あり  
一里塚の四下  
いせあつた  
あつた

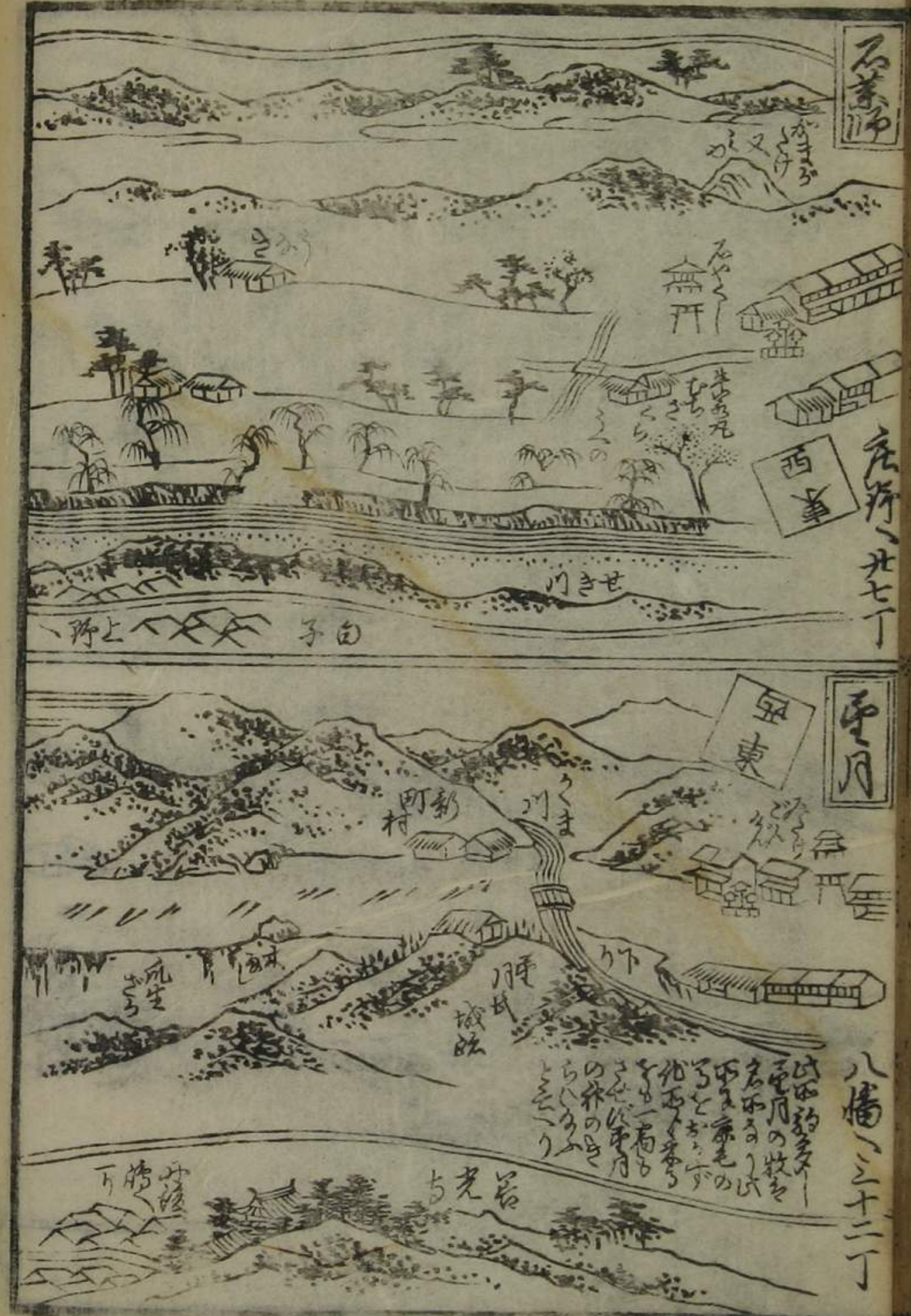
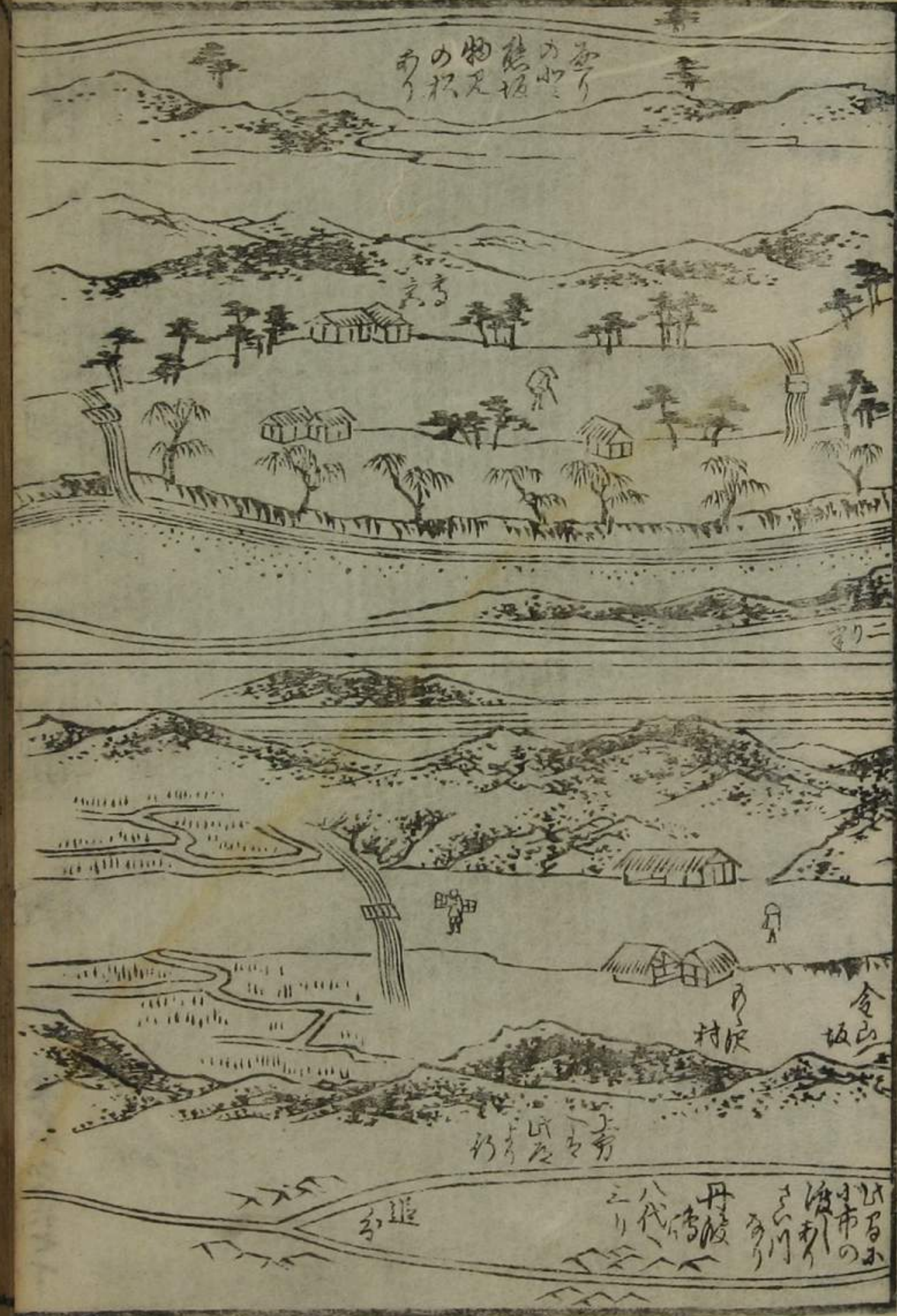






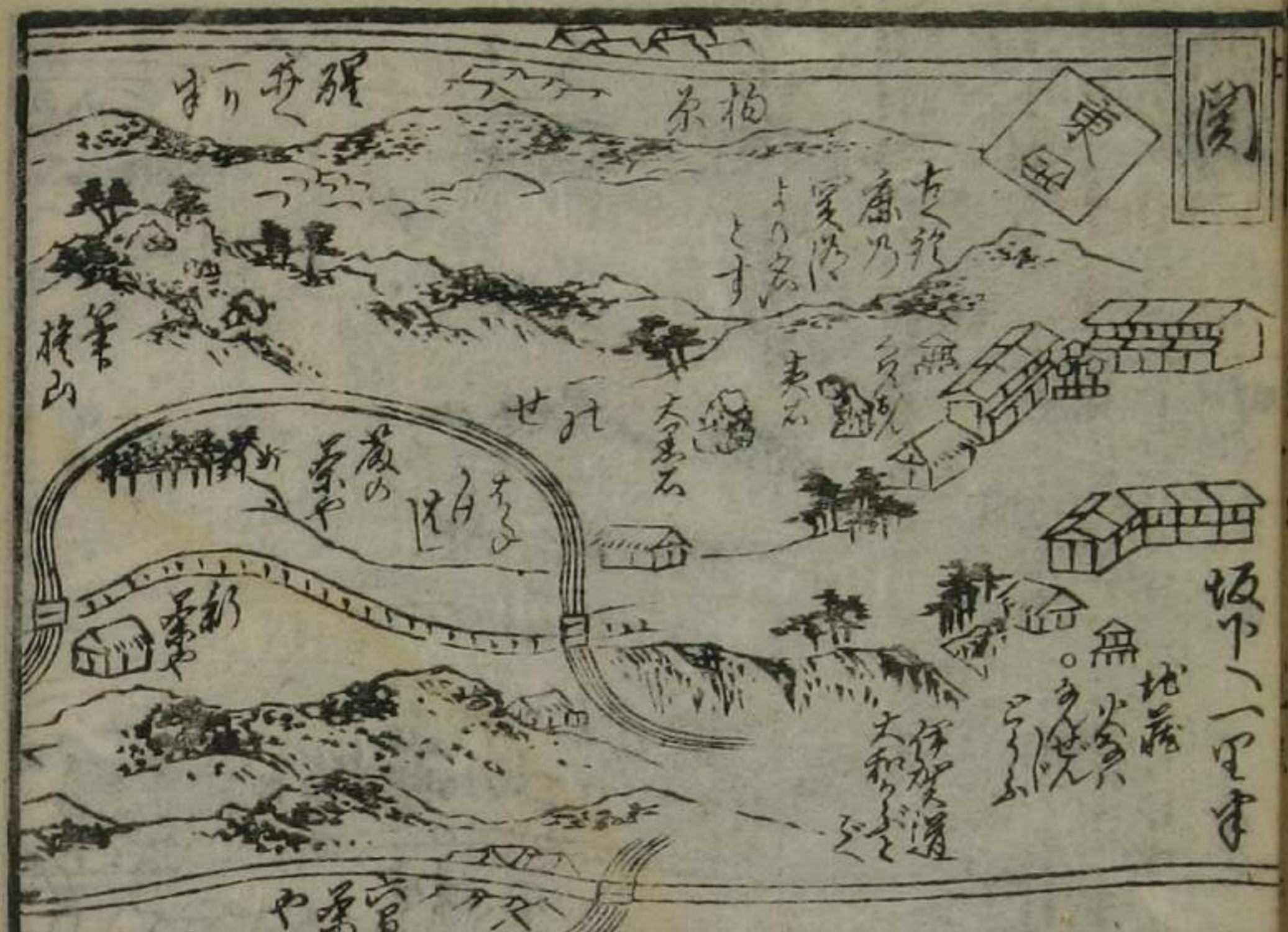
















生石の湯又びわく  
の石をうらぶしあ  
ずるや石とあ



近分當一丹野井沃之  
者の中半中斗東西二  
之里うち廣世を云  
一里二田の由辨  
そその生す草の  
底わうをわす  
勿然と云ふ  
只と云ふ  
之をわす  
之をわす  
之をわす  
之をわす

七山

近分

當掛一里之丁











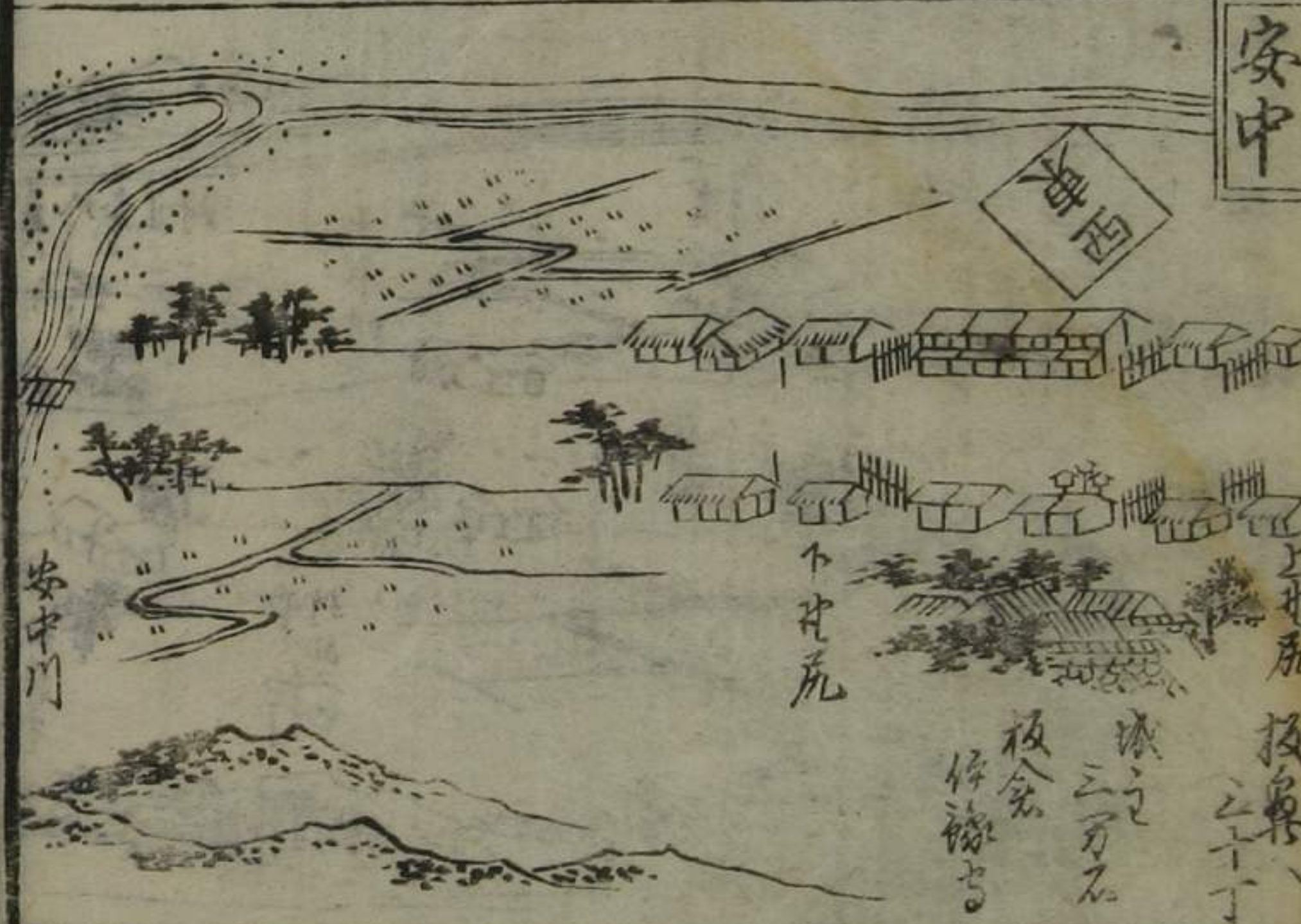
本坂越之道

野附 本二百廿文  
二里 本百廿文

加やん 本二百廿文  
田里 本百廿文  
本樹乃の中あり

和賀 本二百廿文  
二里 本百廿文  
所園新町の姓末女切を設  
有  
二千四百石  
本樹乃の中あり  
三日市をくも山乃あり

安中



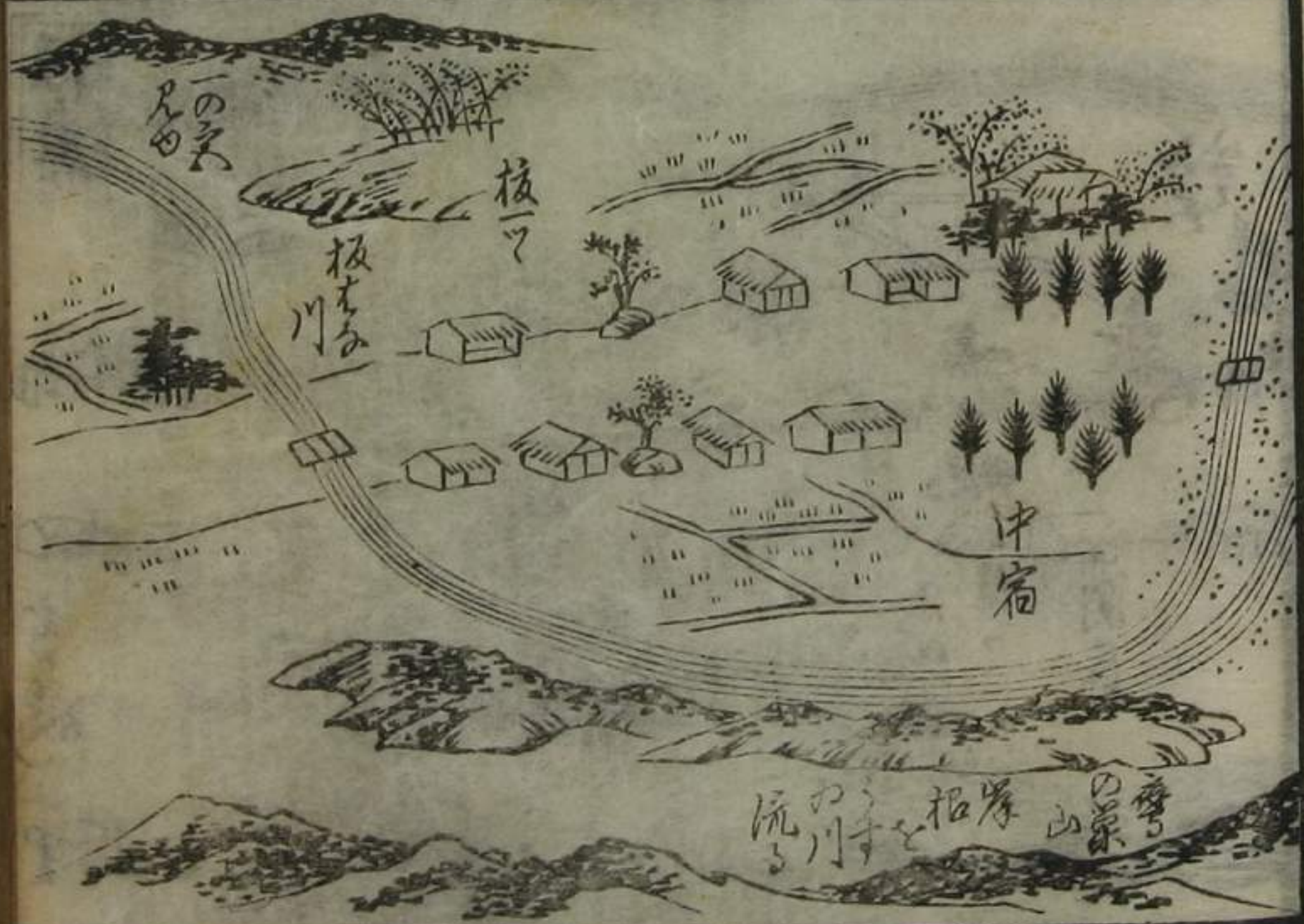
三日市 本二百廿文  
二里 本百廿文  
以るも山乃あり

吹瀬山 本二百廿文  
田里 本百廿文

是より本樹乃の中あり  
かけまのつり物

湯油

是より本樹乃の中あり



東海道上下中仙道記

宮 名古屋、本六十七文、種四十四文、人三十四文

熱田大明神の社大や、ありあり、社於七百十七石

名古屋、清洲、本七十八文、種六十二文、人三十九文

東琵琶橋飛鳥の大橋長廿六十八間小一、二十石

清洲、稲葉、本六十二文、種四十二文、人三十二文

馬屋原や、ありあり、種

國府社あり、七曲、稲葉橋

稲葉、萩系、本六十文、種四十二文、人二十文

東稲葉橋本又村石橋村中、橋字本橋作

萩系、尾城、本四十二文、種廿七文、人二十文

古系村大橋廿石、尾萩系

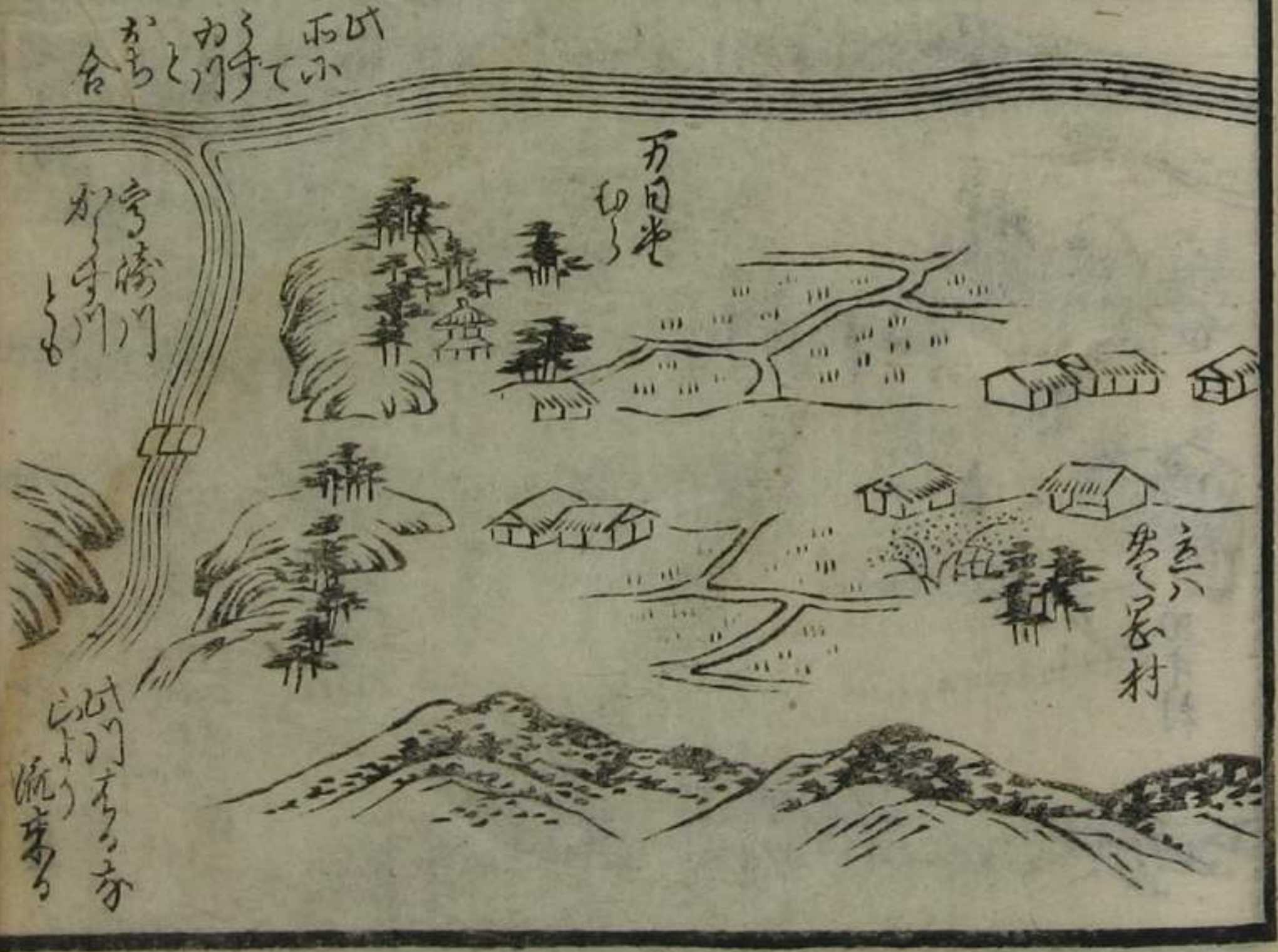
尾城、別股、本百十三文、種七十六文、人六十八文

板倉



高橋、一里、廿丁

尾山の、尾城の、尾城の、尾城の、尾城の、尾城の、尾城の、尾城の、尾城の、尾城の



高橋、尾城

尾城川本宿河の下なり才乃  
大門なり舟のり界門此れ  
才乃門大河あり舟のり

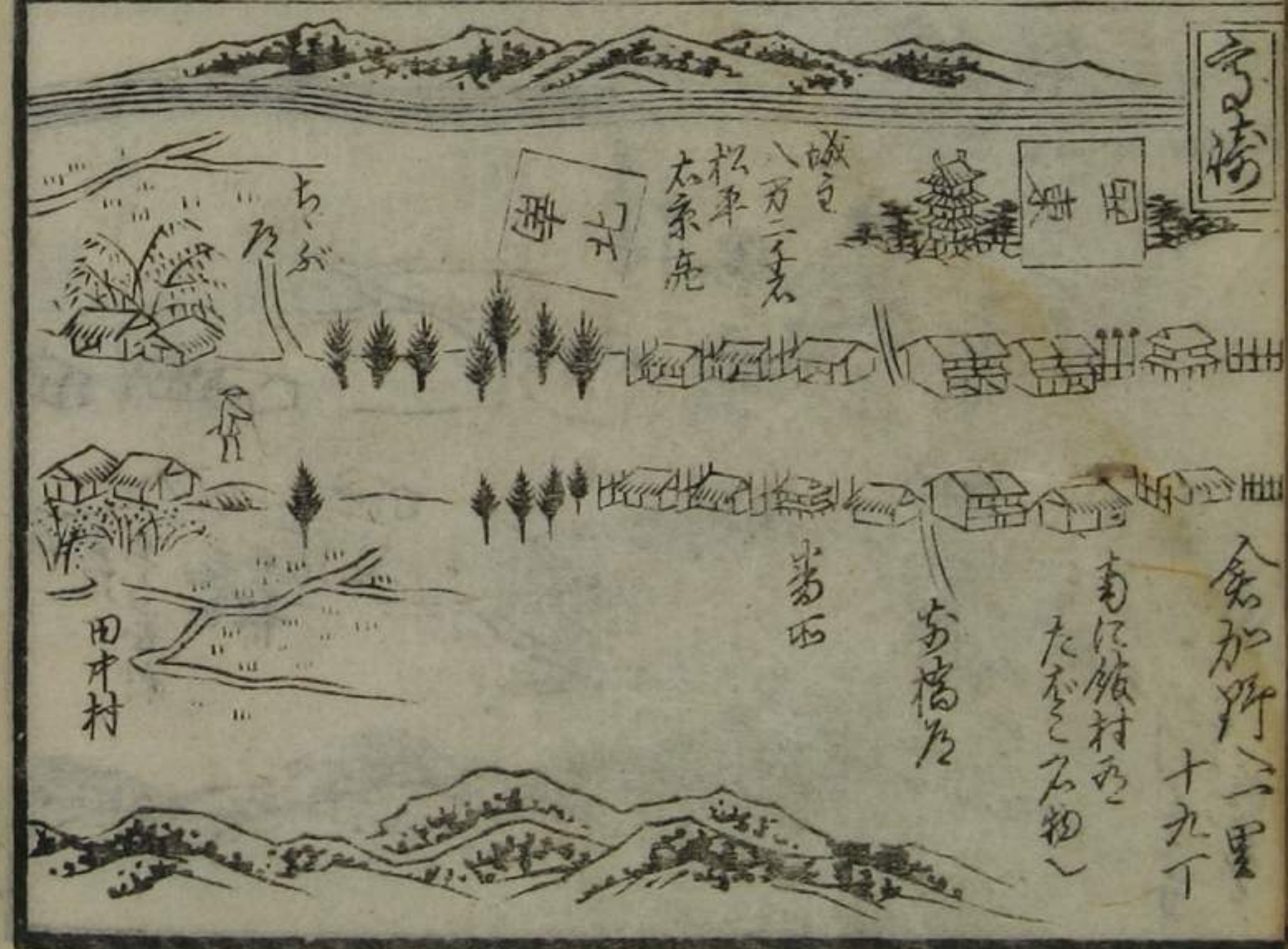
湖股 大堤、  
二里半 本 八十二丈  
人 六十六丈

後村小兼照天姫のまわり  
さつさつ

大堤 岳井  
二里半 本 百三丈  
人 六十九丈

十万里 城台 戸田兼女以

くせ門若井懸坂長龍物見乃



倉加所 二里

南に飯村あり  
たを石物

安橋乃

田村

松ありあつ川南宮山月の中山  
とりの名所あり

岳井

尾より系中々本宿路のたけ  
さつさつ略々



佐倉田の記

宮

二里

本八十六又  
村六十七又  
人四十七又

うとみ橋お酒り村大瀬川橋  
ありうとみ橋といふ名を橋守  
依り橋かすりり村やわたり川  
但し上十六日八号人足ともあり  
万場へ付る岩波宮へ付る

岩波宮

万場

本二十二又  
村十六又  
人十二又

万場川舟賃宮をへ大と  
十秒のちあり万場橋より  
わたり橋わたり桑名へ六里

万場

冠守

本六十九又  
村四十六又  
人三十六又

下柳子村わたり下田川  
ありあり

冠守

佐倉

本六十九又  
村四十六又  
人三十六又

つ八市村茶系川あり下柳村も  
ろくろ村日光川橋を佐倉を下  
斗は方々橋のたのたあり

佐倉

桑名

桑名合をへあり 十七文  
二人水一被へ八家 二百六十三文  
三人水一被へ十家 六百四十九文

佐倉

田



新田二里

宿のむらひ  
ありあり

日光  
たて橋

新田村

桑名村

六十



加す  
川舟

佐倉  
本庄の  
てか多  
る桑名

中津村

立石新田

ありあり

田中 日千人系 六百八十七文  
 六人、日其人系 八百十四文  
 六人、日千人系 九百二十七文  
 桑原より後庭、  
 系合をて人あ 十九文  
 二人水一被八父系 四百廿五文  
 六人、日十交系 六百七十文  
 四人、日廿人系 七百十八文  
 六人、日其人系 九百廿九文  
 六人、日千人系 壹千零七文



名古屋より本番迄伏見迄  
 道

名古屋小牧 本番百廿五文  
 小牧歌田 本番六十文  
 額田其ノ世 本番六十文  
 世ノ下中ノ 本番八十三文  
 水一里 本番四十二文  
 伏見  
 是より本番路あり







天正年中織田信孝居城の所  
 此所より上野の道あり行程  
 五里半あり

白子 上野へ 本 六十四文  
 一里半 註 四十二文

奇祭村に祭者あり此寺に  
 祀る所極く古く是れ此辺より  
 漆物の所なりて佐土に出

上野 津へ 本 七十二文  
 二里半 註 四十九文

此所一分田より上向家乃奇見  
 ありた町むく本より此所  
 右の所に茶師あり清水有

津 津へ 本 七十六文  
 二里 註 六十五文

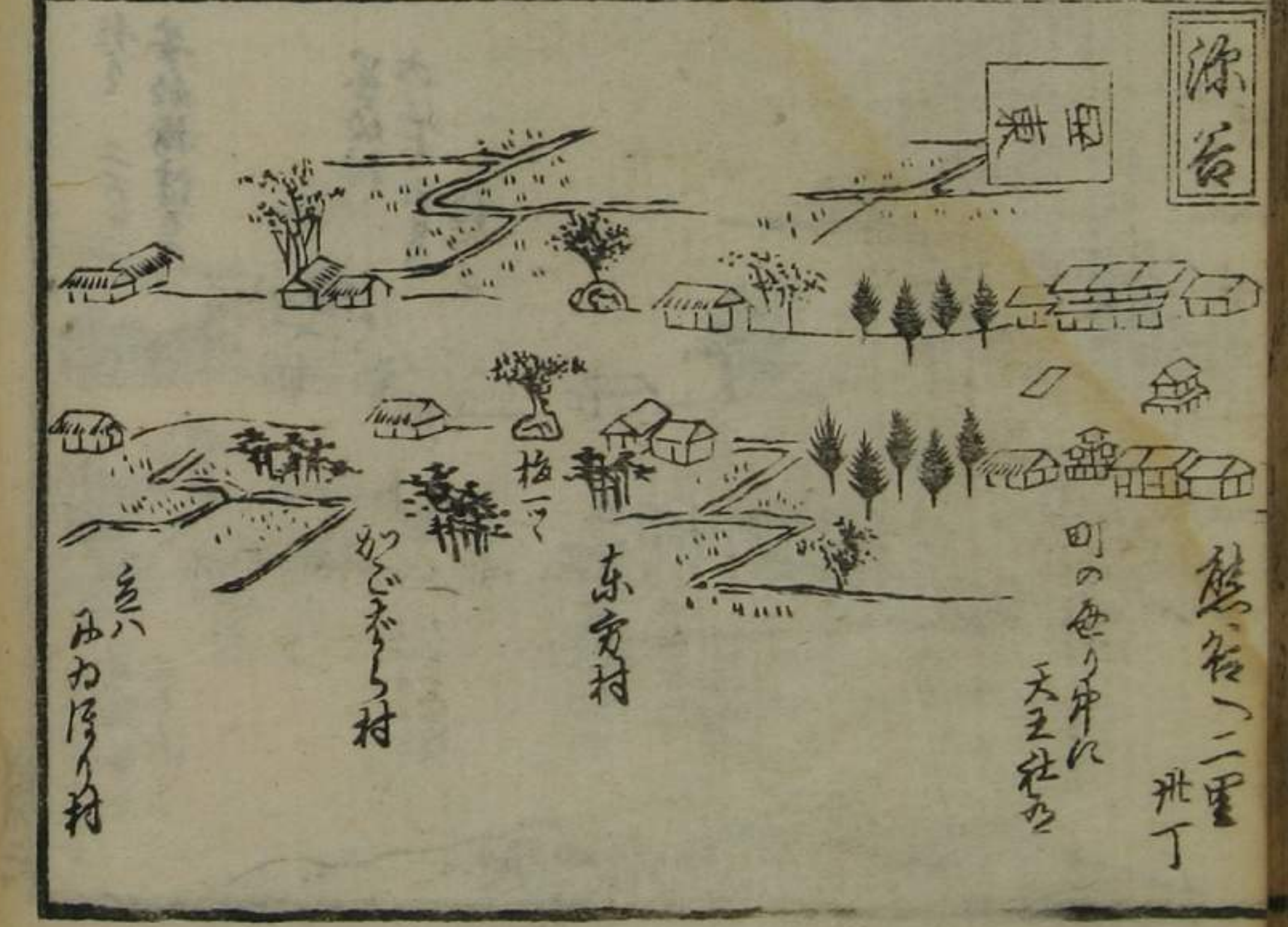
三十二万二千石

津の町七十町余あり  
 城あり 菟野和泉守

雲津 松坂へ 本 七十六文  
 二里 註 六十五文

雲津川を橋あり其橋は舟渡り  
 あり右に伊賀の布引の足あり  
 川筋小橋と云ふなり左より右  
 の赤と云ふ松あり所々菟野  
 ありと云ふ古き橋ありといふ  
 橋ありなり伊賀の所あり  
 今村六新茶や月屋は所あり  
 伊賀城の所あり大橋

松坂 小坂へ 本 百六十五文  
 四里 註 百六十五文



右小坂あり紀州を河持あり右乃  
 方町に田丸の跡あり藤田村  
 茶やあり大智や東堂あり藤田  
 川橋あり麻生村あり一里女の  
 右村あり麻生村あり一里女の  
 ことろなり田村丸宮名入戸光  
 又吉里中左の方より大よとの  
 松とくくお本あり明屋茶屋  
 又新茶やとくくおありこの道  
 の茶やめのもくくおあり右乃方  
 あり大伴山堂のありか  
 の橋

小俣 山田 本 三十七又  
 一里半 概 二十六又  
 町の右乃方新末院表日明林乃



社あり 奥門あり 山田あり  
 系受の人流あり 山田あり  
 あり 山田あり 山田あり  
 廿九丁

山田  
 中河原町乃入口に右夜焼あり  
 茶やあり 大の方並木のあり  
 是京町道のあり 堤世古  
 大間廣社上のあり 大社あり  
 あり 八日市場あり 志宮あり  
 あり 山田あり 山田あり  
 の方 月讀のあり 上彼中  
 彼下 右町の中 経橋あり

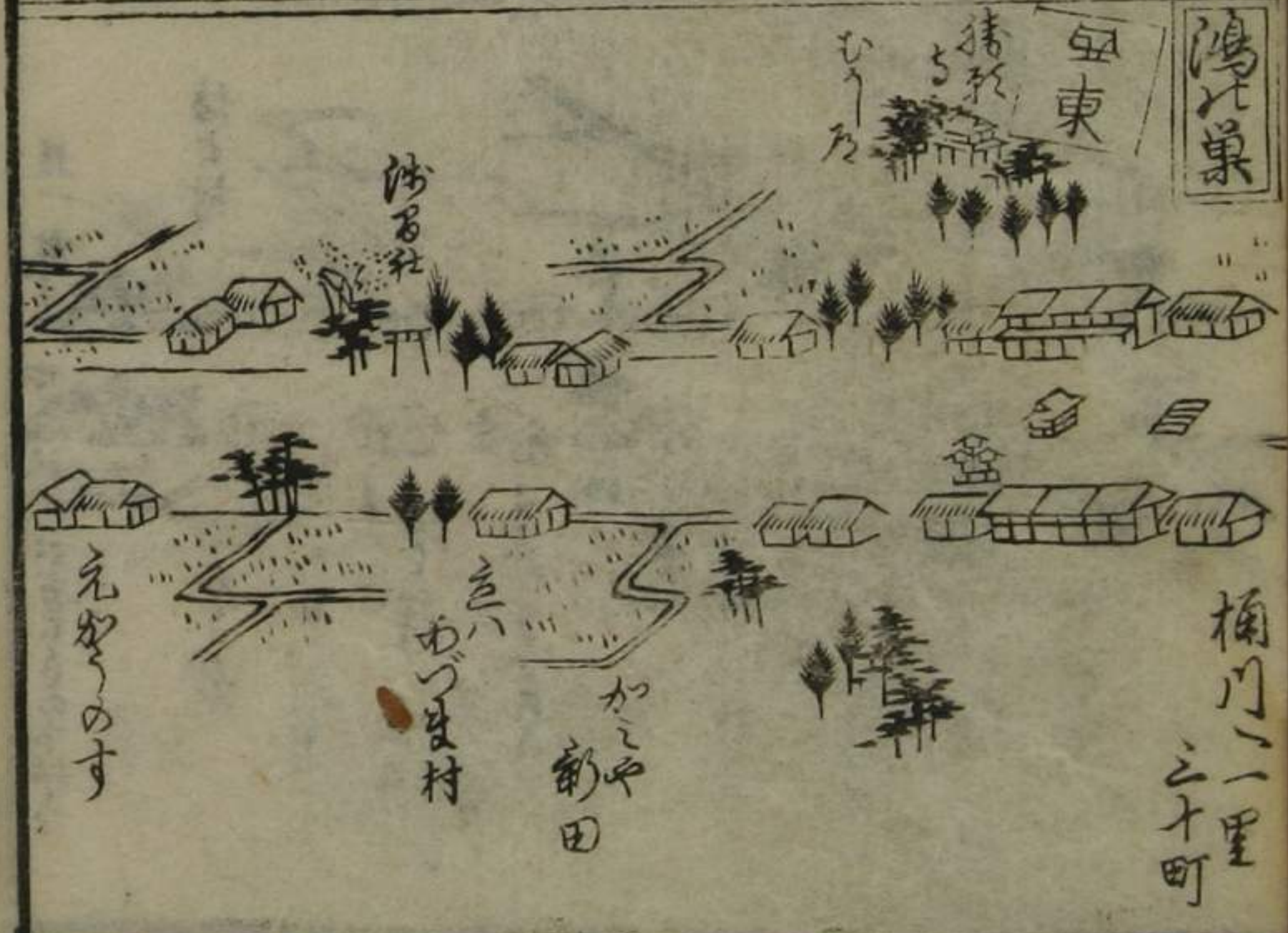


弁太の小津門の御方より九条  
 東の道は小津門の一の番居と二  
 乃前の一の番居より糸衣とを  
 本式といわぬみどり八町方より  
 の及ちくくて後よりと成り多  
 八小津門より集積するなり

外宮

小津の橋は橋の東より下り家正の  
 あり是より兵具仏堂と帯  
 乃よりと禁江津門の番居と懸  
 く小津の津門を弁太社と稱  
 一々小津本社と稱  
 寺なり 早稲社 岩戸  
 坂九下なり 天系岩を乃

後になり 是より内宮へ六十町  
 ありたる方津田の文高文  
 庵へを一丈五寸 若 尾本町  
 小田の尾一物段左の方より尾  
 傍の文高の山坂の左より常明  
 寺あり 古市橋丁 是より宇  
 佐依なり町の左より朝熊岳  
 の道あり 中比嘉町 左乃方は  
 菅原とといふなり 中若  
 浦田 中の村 尾田 今在る家  
 大寺一尾の方 林傍文庫有  
 橋姫社宇佐橋長サ六十間  
 小津川より林路よりなり



内宮

一二三河有居門を經て赤本社  
を經て赤本社 八十末社 借  
尾の村西六十門乃向平なり  
内宮系終つて山と林より  
宇治橋不出平向平一胡懸  
岳不傷人八山の村乃存り方  
の山崎又付て借るべし

朝懸嶽

宇治の跡を宇治町より 山成  
傍若山を割つちとりの處を  
麓の平地より本堂のまへに  
連珠の池を畫のまへより富士  
山見る所の茶やも朝懸村に

補門

田

雷電山



二見浦

二里 二見浦

川の浦 志まお 山田系 此より  
遠敷 二村村 志院院 伴勢之席  
田崎あり 志院山 絶頂より 一本乃  
松有 志石のまへ 山あり  
志石 志院あり 志院人 娘殿  
志院 志院あり 志院と 志院

廣同社



六十丁

此邊より 興の玉石を石より  
 二町半沖より 蔚松三津松  
 と江村との間にあり 漢松三津  
 村の南の江村を 片枝の茅草に  
 水がくも 茅草より 気味をよみ 萩  
 とのふ

伊羅宮 山田より

山田より 遠くを津までりて  
 の名より 雲の津より 宿次左乃  
 おと

津 一里半 程 四十里

津の町は 川と川と 橋あり  
 六十町半 雲の津 せし川 橋百町



上尾

田

大六、二里 八丁

右の寺川 鐵及有 木の旁 岩有

松

松

新田

新田

新田

五 戸 合 村 社

戸 合 村 社

井 長 ありて

窪田 四里 程 百二十里

左の方に 水 雲 松 とのふ 雲 あり  
 昔は 橋 かけ 松 とのふ ありて  
 むく けい 村 ありて 雲 を 行 かせ あり  
 所 として 一里の 井 あり 右 なる 山 乃  
 蔵 あり ありて ありて ありて ありて

関

此より 本 橋 遺 あり



右 村

右 村

小 村

小 村

小 村

大津より大坂道

大津 伏見  
四里八分

本 百七十五  
人 百十三  
八十四

勤使も村頭物名物茶 大津山  
若以職出く津家古く方  
只の 養蚕 養漆 持本町  
桑場

伏見  
本丁

本 六十二  
人 二十六

是より大坂まで出る 渡場  
大橋百廿里小橋本丁 舟羽橋  
乃之れみちあり

渡 牧方  
五里半

本 百六十五  
九十六

大宮

東



浦和 一里  
十町  
本町

武州一里  
津和野  
本丁  
十八丁

人 七十三

橋本を去る里のり八橋あり

乃あり千六丁あり

牧方  
大坂

本 二百六十五  
人 百七十三

佐志村と林の社あり名井あり  
立場あり牧方より大坂へあり  
人並いしはよりく次あり身は  
大坂二里

大宮  
東乃  
十町  
本町



武州一里  
津和野  
本丁  
十八丁



箱根七湯目より又湯田新  
湯めぐりする人多し一先には  
下りかけの先ぐりとあるは

菅の湯 相模の六丁  
元宿 底倉一

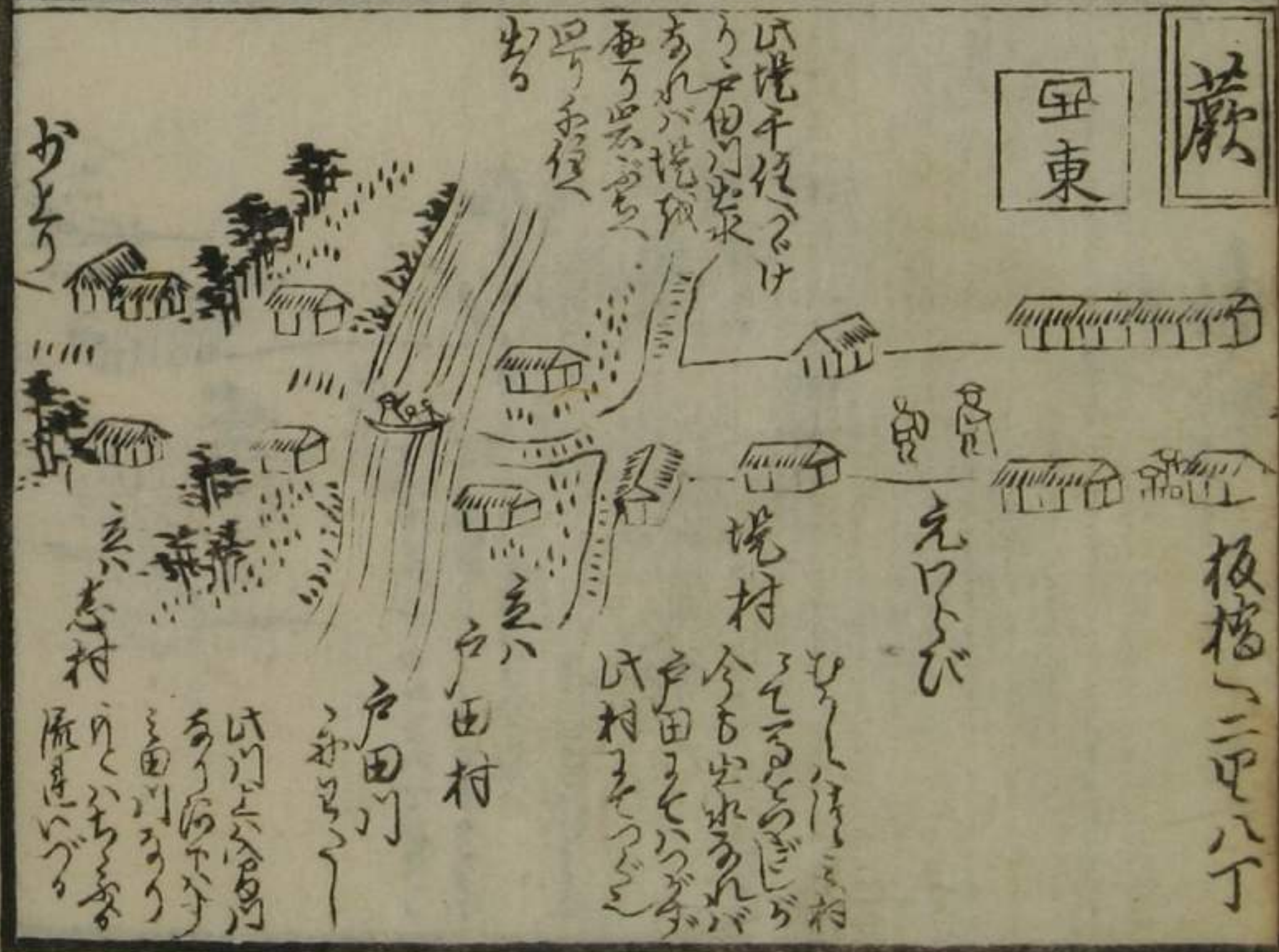
底倉 奥の丁  
宮の下 奥のついで

菅の湯 塔の沢  
湯の沢 湯田一

湯本 二枝橋  
橋のついでの本宿あり

箱根 板橋二丁八丁

田東



文の森を山と波海七里  
船賃附

系合を合 四十五文  
むらり一校 二百七十文 六人乗

箱根の湯 四十六文 一人乗

杖藜一箱 四十五文 日

具足一箱 四十五文 日

お母村一箱 四十六文 日

系下一箱 六十五文

本宿箱根 百九文

箱根一箱 百九文 一人乗

のり物一丁 四人乗

長持一持 六人乗

通る一丈 百七十文 六人乗

湯めぐり  
大板種  
名物  
清水村  
わの沢村  
蓮村





増水之  
 三人水一艘 三百六十五文  
 四人水一艘 六百六十五文  
 五人以上水一艘 八百六十五文  
 六人以上水一艘 九百六十五文  
 七人以上水一艘 一千零六十五文  
 八人以上水一艘 一千二百六十五文  
 九人以上水一艘 一千四百六十五文  
 十人以上水一艘 一千六百六十五文  
 十一人以上水一艘 一千八百六十五文  
 十二人以上水一艘 二千零六十五文  
 十三人以上水一艘 二千二百六十五文  
 十四人以上水一艘 二千四百六十五文  
 十五人以上水一艘 二千六百六十五文  
 十六人以上水一艘 二千八百六十五文  
 十七人以上水一艘 三千零六十五文  
 十八人以上水一艘 三千二百六十五文  
 十九人以上水一艘 三千四百六十五文  
 二十人以上水一艘 三千六百六十五文



同世分一 四百八十七文  
 同世分二 六百六十五文  
 同世分三 八百六十五文  
 同世分四 九百六十五文  
 同世分五 一千零六十五文  
 同世分六 一千二百六十五文  
 同世分七 一千四百六十五文  
 同世分八 一千六百六十五文  
 同世分九 一千八百六十五文  
 同世分十 二千零六十五文  
 同世分十一 二千二百六十五文  
 同世分十二 二千四百六十五文  
 同世分十三 二千六百六十五文  
 同世分十四 二千八百六十五文  
 同世分十五 三千零六十五文  
 同世分十六 三千二百六十五文  
 同世分十七 三千四百六十五文  
 同世分十八 三千六百六十五文  
 同世分十九 三千八百六十五文  
 同世分二十 四千零六十五文





ありのる 五十九十二文  
 せうのる 五十六百十文  
 ものる 八百八十九文

御定荷物貫目

一 駄前 三拾六貫目  
 系掛下 十貫目より十八貫目まで  
 輕尻廻り付 三貫目より六貫目まで  
 人員前 六貫目

妻籠	九十九文	六十二文	四十八文
この	百四十五文	九十二文	七十一文
野尻	百十三文	七十四文	六十六文
次原	百七十五文	百十七文	八十七文
上松	百六十五文	百六文	七十七文
赤松	八十八文	六十六文	四十六文
藪系	八十八文	六十六文	四十八文
赤山	百十二文	七十七文	四十一文
洗馬	八十文	六十五文	四十一文
塩尻	百十五文	百六文	八十八文
和田	百一十文	六十四文	四十九文

東海道五十二次詰賃附

日本馬	百十七文	七十五文	六十六文
品川	百十五文	八十八文	六十七文
河橋	百十五文	八十八文	六十七文
津島	百九文	八十五文	三十一文
福谷	百七十五文	八十五文	六十四文
戸塚	百七十五文	七十五文	六十五文
菟沢	百九十五文	百九文	九十五文
平塚	百九十五文	百九文	九十五文
大塚	百九十五文	百九文	九十五文

妻保	六十九文	四十六文	三十四文
中由	六十文	三十五文	廿八文
八ヶ岳	六十文	廿六文	十八文
岩村	六十文	廿六文	十八文
小田	六十文	廿六文	十八文
追分	四十八文	三十一文	廿三文
菅掛	六十一文	三十一文	廿三文
榑井	二百十五文	百九文	百六文
坂本	百九十五文	七十五文	六十五文
松井	百九十五文	七十五文	六十五文
安中	二十九文	廿六文	十九文
板倉	八十二文	六十五文	四十九文
高崎	六十二文	四十一文	三十一文

江尻	無津	由井	蒲原	吉原	原	沼津	二橋	新根	小田原
百七十五	六十六	百九十五	六十六	百七十五	百七十五	八十五	百六十五	七百七十五	六百七十五
九十五	二十八	百六十五	百六十五	百六十五	百六十五	六十五	六十五	四百七十五	四百七十五
七十五	六十六	九十五	九十五	七十五	七十五	四十一	六十一	三百六十五	三百六十五

倉敷	新町	津原	源谷	熊谷	沼津	桶川	上尾	大宮	浦和	板橋	日本橋
六十九	九十	百七十五	百七十五	百七十五	八十二	百七十五	九十五	六十六	六十一	百六十五	百七十五
四十六	六十七	八十二	八十二	百七十五	六十二	六十九	六十九	二十九	四十一	六十七	百七十五
三十四	四十六	六十一	六十一	九十四	四十一	廿二	四十六	廿九	三十二	六十一	百七十五

寛政十一年三月改定一割  
 本馬 七也二百十二文  
 行程合百廿五里十二丁

府中	赤松	長船	茂枝	鶴田	金谷	日坂	掛川	袋井	足付
百七十五	九十五	百七十五	百七十五	百七十五	百七十五	百七十五	百七十五	百七十五	百七十五
百七十五	六十五	六十五	百一十五	九十五	百七十五	百七十五	八十五	六十五	百七十五
八十五	四十七	四十七	七十五	七十五	八十五	七十一	六十六	六十五	百七十五

辰尻	人足	潮時	為	虚
四百七十五	二百六十五	六十八	六十八	九十八
九十八	五十八	五十八	五十八	八十八
七十八	七十八	七十八	七十八	七十八

長崎	坂川	赤坂	赤坂	若田	二川	白鷺	新居	藤坂	淡路
百廿文	百廿文	百廿文	百廿文	百廿文	百廿文	百廿文	百廿文	百廿文	百廿文
百廿文	百廿文	百廿文	百廿文	百廿文	百廿文	百廿文	百廿文	百廿文	百廿文
百廿文	百廿文	百廿文	百廿文	百廿文	百廿文	百廿文	百廿文	百廿文	百廿文

十日廿六日 昼八ツ 夜五ツ  
 十一日廿七日 昼八分 夜五分  
 十二日廿八日 昼八分 夜五分  
 十三日廿九日 昼七分 夜四分  
 十四日三十日 昼七分 夜四分  
 十五日三十一日 昼六分 夜四分  
 十六日 昼六分 夜四分  
 十七日 昼六分 夜四分  
 十八日 昼六分 夜四分  
 十九日 昼六分 夜四分  
 二十日 昼六分 夜四分  
 二十一日 昼六分 夜四分  
 二十二日 昼六分 夜四分  
 二十三日 昼六分 夜四分  
 二十四日 昼六分 夜四分  
 二十五日 昼六分 夜四分  
 二十六日 昼六分 夜四分  
 二十七日 昼六分 夜四分  
 二十八日 昼六分 夜四分  
 二十九日 昼六分 夜四分  
 三十日 昼六分 夜四分

坂下	関	無山	赤坂	石坂	冒市	紫名	大	鳴海	沈瀬
百廿文	百廿文	百廿文	百廿文	百廿文	百廿文	百廿文	百廿文	百廿文	百廿文
百廿文	百廿文	百廿文	百廿文	百廿文	百廿文	百廿文	百廿文	百廿文	百廿文
百廿文	百廿文	百廿文	百廿文	百廿文	百廿文	百廿文	百廿文	百廿文	百廿文

不成就日  
 正月十日 二月九日 三月七日  
 四月五日 五月三日 六月二日  
 七月廿五日 八月廿二日 九月廿日  
 十月十八日 十一月十六日 十二月十二日

鬼宿日 大者日なり



七山 土丁	百七十五文	百六十五文	七十五文
水口 土丁	百七十五文	百十五文	八十五文
石部 土丁	百七十五文	百十五文	八十五文
茶津 土丁	二百七十五文	百七十五文	百七十五文
大津 土丁	二百七十五文	百七十五文	百七十五文
京都	里数合百廿四里半		
本馬	八廿六十五文	八廿六十五文	
板尻	八廿六十五文	八廿六十五文	
人足	四廿九十五文	四廿九十五文	
文化田丁	卯結録付改心		

前北齋老人画

一 東海道名所一覽 彩色 全一放

一 木曾路名所一覽 日 全一放

一 増補日本地名便覽 横本 全一册

一 日本橋南町目録

一 須原屋長之清藏

天保十二壬寅正月吉日

須原屋長之清藏

